

官報

號外 昭和十四年三月二十五日

○第七十四回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十九號

昭和十四年三月二十四日(金曜日)午前十時
十八分開議

議事日程 第二十九號

昭和十四年三月二十四日

午前十時開議

第一 昭和十四年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

會議(委員長報告)

第二 昭和十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

會議(委員長報告)

第三 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス(ヲ要スル件(追第三號))

會議(委員長報告)

第四 臨時陸軍材料資金豫算案(第一讀會ノ續(委員長報告))

會議(委員長報告)

第五 職員健康保險法案(政府提出、衆議院第一讀會ノ續(委員長報告))

會議(委員長報告)

第六 司法保護事業法案(政府提出、衆議院第一讀會ノ續(委員長報告))

會議(委員長報告)

第七 船員保險法案(政府提出、衆議院第一讀會ノ續(委員長報告))

會議(委員長報告)

第八 災害被害者ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶徵收猶豫等ニ關スル法律案(政府提出、衆議院第一讀會ノ續(委員長報告))

會議(委員長報告)

第九 登錄稅法中改正法律案(政府提出、衆議院第一讀會ノ續(委員長報告))

會議(委員長報告)

第十 有價證券移轉稅法中改正法律案(政府提出、衆議院第一讀會ノ續(委員長報告))

會議(委員長報告)

第十一 中支那振興株式會社法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

會議(委員長報告)

第十二 健康保險法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

會議(委員長報告)

第十三 軍馬資源保護法案(第一讀會ノ續(委員長報告))

會議(委員長報告)

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマス(丸龜書記官朗讀)
昨二十三日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

第一讀會ノ續(委員長報告)
府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

中支那振興株式會社法中改正法律案可決報告書

健康保險法中改正法律案可決報告書

中支那振興株式會社法中改正法律案可決報告書

軍馬資源保護法案

競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案

臺灣米穀移出管理特別會計法案

地方學事通則中改正法律案

種馬継制法案

競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案

臺灣米穀移出管理特別會計法案

地方學事通則中改正法律案

青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者

ノ就業時間ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル

送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

昭和十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

豫算外國庫ノ負

擔トナルベキ契約ヲ爲ス(ヲ要スル件(追第三號))

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和十四年度歲入歲出總豫算追加案(第一讀會ノ續(委員長報告))

第三號)、臨時陸軍材料資金豫算案

豫算追加案(特第二號)、豫算外國庫ノ負

擔トナルベキ契約ヲ爲ス(ヲ要スル件(追第三號))

昭和十四年度歲入歲出總豫算追加案(第一讀會ノ續(委員長報告))

職員健康保險法案可決報告書

船員保險法案可決報告書
映畫法案可決報告書
著作權ニ關スル仲介業務ニ關スル法律案可決報告書
災害被害者ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案可決報告書
登錄稅法中改正法律案可決報告書
有價證券移轉稅法中改正法律案可決報告書
臨時陸軍材料資金特別會計法案可決報告書
中支那振興株式會社法中改正法律案可決報告書
報告書
中支那振興株式會社法中改正法律案可決報告書
報告書
中支那振興株式會社法中改正法律案可決報告書
報告書
中支那振興株式會社法中改正法律案可決報告書
報告書
右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審査シ總一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十四年三月二十三日
貴族院議長伯爵松平賴壽殿
委員長子爵渡邊千冬
〔子爵渡邊千冬君演壇ニ登ル〕
○子爵渡邊千冬君 只今議題ニ供セラレマシタ、昭和十四年度歲入歲出總豫算追加第二號外三件ニ關スル委員會ニ於ケル審査ノ宗教團體法案
寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財產ノ提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
明治三十五年法律第四十九號中改正法律案
非訟事件手續法中改正法律案
裁判所構成法中改正法律案
商法ヲ引用スル條文ノ整理ニ關スル法律案
○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、昭和十四年度歲入歲出豫算追加案、第二號、日程第二、昭和十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案、特第二號、日程第三、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス(ヲ要スル件、追第三號)、日程第四、臨時陸軍材料資金豫算案、委員長報告、是等ノ四案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ〔異議ナシト呼フ者アリ〕
メマス、委員長渡邊千冬君
〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ参考ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕
照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ
百三十餘萬圓、帝國礦業開發株式會社設立
ニ關スル經費三百七十餘萬圓、高等工業學校創設及擴張ニ要スル經費四百七十餘萬圓、農林水產物增產確保施設ニ關スル經費千五百五十餘萬圓、北樺太石油及石炭利權確保補助金七
百三十一萬圓、支那事變ニ伴フ年金及恩給ノ增加千四百二十餘萬圓、

航路補助ノ増加五百餘萬圓、航空ニ關スル經費ノ増加千百十餘萬圓等デアリマス、以上ノ追加豫算第二號ヲ、既ニ成立致シマシタ昭和十四年度本豫算竝ニ追加豫算第一號ニ加ヘマスルト、昭和十四年度豫算ハ歲入歲出共ニ四十八億四百五十餘萬圓トナルノデアリマス、次ニ昭和十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加特第二號ハ、對支文化事業、國債整理基金、公債金、國有財產整理資金、金資金、關東局、帝國大學、學校及圖書館、米穀需給調節、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳及南洋廳ノ各特別會計ニ屬スルモノデアリマス、又豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件追第三號ノ主ナルモノハ、地方災害土木費補助、日本產金振興株式會社損失補償、中小商工業轉換資金融通損失補償、航空輸送補助、船舶建造資金貸付補給及日本發送電株式會社社債元利保證等ニ關スルモノデアリマス、尙又臨時陸軍材料資金豫算ハ、今回設置セラル、コトトナリマシタ臨時陸軍材料資金特別會計ニ屬スルモノデアリマス、同會計ハ陸軍ガ事變地ニ在ル軍需品ヲ材料及原料ヲ取得スル爲ノ資金ニ關スル歲入歲出ヲ、他ノ會計ト區分シ特別ニ經理スル爲ニ設ケラレタルモノデアリマシテ、歲入歲出共ニ一億二千萬圓デアリマス、豫算案ノ内容ハ大體以上ノ通りデアリマス、豫算委員會ハ二十二、二十三ノ兩日之ヲ開會致シ、會期切迫ノ折柄分科ニ付託スルコトヲ省略致シマシテ、總會ニ於テ十分審議ヲ盡シマシタノデアリマス、今ヨリ委員會ニ於ケル質疑應答ノ中、主ナル事項ニ付テ申述的ノ諸問題ニ付キマシテ種々質問が行ハレマシテ、政府ヨリソレゞ答辯ガアツタノデアリマス、ソレニ依リマスレバ宣撫工作ニ付キマシテハ、第一線ノ宣撫工作ハ軍ニ

於テ之ヲ行ヒ、其ノ他ハ興亞院ガ之ヲ行フ
用兵ノ必要ナキ地域ニ於テハ興亞院ガ之ニ
當リ、支那ニ於ケル事業ノ認可ニ付テハ、
現地ニテハ興亞院連絡部、内地ニ於テハ興
亞院ガ主トナツテ之ヲ處理スルトノコトデ
アリマシタ、尙支那ニ於ケル在留邦人ノ保
護取締ニ付キマシテハ、之ヲ外務省ガ擔當
セラレルトノ答辯デアリマシタ、支那ニ於
ケル在留邦人ノ保護取締ニ付テハ、現在ノ
在支外務機關デハ不十分デハナイカ、在支
領事館ヲ増設シ、其ノ人員ヲ充實シ、警察
官ノ素質ヲ向上セシム、今後益々増加スペキ
在留邦人ノ教育、衛生、思想的指導、又其
ノ生業保護等ニ努力スベキデハナイカトノ
質問ニ對シマシテハ、是等ノ諸點ニ付テハ
必要ニ應ジ善處スル旨ノ答辯ガアリマシ
タ、又御趣旨ノ通り阿片、「モルヒネ」等ノ不
正業者ハ、十分取締ル積リデアル旨ヲ外相、
陸相ヨリ陳述セラレマシタ、尙又上海ノ「テ
ロ」事件ニ鑑ミ、租界返還ノ考ハナイカト
ノ質問ニ付テハ、支那ニ於ケル租界ノ返還
ハ考慮スル積リデアルガ、我ガ國ガ租界ヲ
返還スル時ハ、諸外國モ租界ヲ返還セラレ
ル時期ト考ヘル旨ノ言明ガアッタノデアリ
マス、次ハ外交ニ關スル問題デアリマス、
對支問題以外ニ於テ、外交ニ關シテ問題ト
ナリマシタコトノ一ツハ、北樺太ノ利權ノ
確保ニ關スルモノニアリマス、此ノ利權確
保ニ要スル經費七百餘萬圓ガ豫算ニ計上サ
レテ居ルガ、是ハ「ソ」聯側ニ於ケル條約不
履行ニ基因シテ、損害ヲ蒙ツタ所ノ我が業者
ヲ補助スルモノニアリガ故ニ、「ソ」聯ニ對シ
テ賠償ヲ要求シテ然ルベキデハナイカトノ
質問デアリマス、政府ノ之ニ對スル答辯ハ、
條約上ノ義務不履行ニ基ク損害ニ對シテ
ハ、一般的ニ言ヘバ賠償ノ請求ガ出來得ルノ
デアルガ、個々ノ問題ニ付テハ種々考慮ヲ
要スルトノコトデアリマシタ、又漁區競賣

問題ニ付テモ政府ヨリ經過ノ説明ガアツタノ所ガ、之ニ對シマシテ平沼首相ヨリ其ノ信念ヲ切實ニ披瀝セラル、所ガアツタノデアリマス、次ハ資源開發ニ關スル質問應答デアリマス、「アルミニウム」ノ生產擴充ニ付テハ、國內資源開發ニ依ツテ其ノ目的ガ達セラレルノデハナイカ、外國原料ニ依存スル方法ハ、外貨獲得ノ政策ト相反スルモノデハナイカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ緊急ノ需要ニ對シテハ、或程度迄外國原料依存ノ方法ヲ執ルコトモ亦已ムヲ得ナイ旨ノ答辯ガアリマシタ、尙其ノ外砂鐵ノ問題、燃料問題等ニ付テモ質疑應答ガ行ハレタノデアリマス、又資源開發等ニ關聯シマシテ、科學振興ノ急務タルコトヘ今回ノ委員會ニ於テモ亦屢々繰返シテ主張セラレ、此ノ點ニ關シテ政府ノ所信ヲ問ウタノニ對シ、政府ハ現在ノ施設ヲ以テ十分ナリトハ考へテ居ナイガ、本問題ノ重要性ニ鑑ミ、尙必要ニ順應スル爲ニハ、十分力ヲ致ス考デアルトノ答辯ガアツタノデアリマス、以上ノ外尙種々ノ問題ガ論議セラレタノデアリマス、例ヘバ町村ト地方ノ經濟團體トノ關係ニ付キマシテ、其ノ相互通報ガアリマシタ、又通信事業ヲ民營トスル意思ハナイカト云フ問ニ對シマシテイデハナカトノ質問ニ付テハ、各別個ノ團體トシテ協調ヲ圖ル方針デアルトノ答辯ガアリマシタ、又電力事業ニ付テは、電力ノ豐富ノ點ニ付テハ確信ガアルガ、種々ノ困難ガアルノデ現在其ノ意思ハナイト云フコトデアリマシタ、又電力國家ネマシタ處、政府ハ發送電五箇年計畫ニ依ツテ、電力ノ豐富ノ點ニ付テハ確信ガアル、

又低廉ノ點ニ付テモ、石炭値上リ及ビ課稅ニ依ル經費ノ増加等ノ事情ハアルケレドモ、現在ヨリ低廉ナラシメ得ルコトヲ確信スル旨ノ答辯ヲ得タノデアリマス、尙又滿洲國ノ經濟發展ニ伴ヒ、日滿兩國間ニ於テ經濟上相競フ生ゼザルヤウ致シタキ旨ヲ述べラレニ關スル方針ハ如何デアルカトノ問ニ對シマシテ、政府ハ日滿一體、不可分關係に基キ、適地適應主義ヲ以テ、兩國間ニ無用ノ摩擦ヲ生ゼザルヤウ致シタキ旨ヲ述ベラレタノデアリマス、又貿易ニ關シテハ種々質問ガアツタノデアリマスガ、貿易獨占會社ヲ設立スルトノ風評ニ付キマシテハ、政府ハ之ヲ否定シテ居ラレタノデアリマス、又輸出用罐詰ニ用ヒル「ブリキ」ノ供給ニ付テノ質問ニ對シマシテハ、政府ハ之ヲ優先的ニ考ヘルトノコトデアツタノデアリマス、尙右シ極メテ少額デアルガ、之ヲ増額スベキデノ外最近ニ於ケル物價昂騰ノ狀況ニ鑑ハナイカトノ質問ニ對シマシテ、平沼首相ヨリ減俸ハ其ノ當時下級官吏ニ對シテハ之ノ意思ハナイカ、又大臣ノ俸給ガ各國ニ比テ行ハナカツタノデアルカラ、減俸復活ヲスルトスレバ、ソレト同時ニ下級官吏ノ待遇ヲ如何ニスルカト云フ問題ヲ伴フノミナラズ、一般ノ俸給生活者トノ關係モアルノデ、尙慎重ニ考慮ヲ要スル、又大臣ノ増俸ニ付テハ其ノ意思ハナイトノ答辯ニアリマシタ、尙南洋廳ノ制度ノ擴大強化ノ要ハナイカトノ質問ニ對シマシテハ、政府ハ南洋ノ重要性ニ鑑ミマシテ、一層努力致シタイトノ答辯ガアツタノデアリマス、右ノ外幾多重要な質問應答ガアツタノデアリマスガ、限ラレタ時間ノ今日デアリマスカラ、總テ之ヲ速記録ニ譲リタイト存ジマス、以上ヲ以テ質問ヲ終リ次イテ討論ニ入リマシタ處、原案賛成意見ノ陳述ガアリ、採決ノ結果、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、以上ヲ以テ報告ヲ終リマス

ヲ致シテ居リマス、缺點ガドウ云フ所ニアルカ、長所ハドウ云フ所ニアルカ能ク知ッテ居リマス其ノ氣持デ見ルト云フト、此ノ所有權ノ問題ニ觸レテ問題ノ起キテ來クト云フコトモ、其ノ主張ガ何處ラニアルヂヤラウト云フコトヲ、御聽カセ蒙ライデモ分ダ居ル、私共ハ輕々此ノ問題ヲソ聯ノ根本觀念ガ、根本思想ガ染ツテ來タ、ソンナコトニ考ヘマセヌ、デアルガ要スルニ此ノ考ハ若イ生硬半熟デアリマス、ヨンナモノニ簪ヲ著ケテ食ベタラ直チニ下痢ヲ起ス、尤モ下等動物デアツタラ下痢ヲ起サヌカモ知レス、文化ノ進ンダ我々ガ食べルト云フトナケレバイカヌ、此ノ所有慾ト云フモノハ下痢ヲ起シマス、此處迄話ヲ進メテ參リマスト、モウ少シ根本的ニ、一體人間ト云フモノハドンナモノカト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバイカヌ、此ノ本能デアリマス、文化ガ進ンデ來タノハ所有慾ノ其ノ累積デアルト云フテモ宜イ、所有慾ノ無イ所ニハ文化ハ進ミマセヌ、今デモ世界ニ其ノ例ハ餘計アル、併シナガラ隨分宗教家等デハ此ノ欲望ヲ捨テネバナラヌト云フコトデ、相當ノ苦勞ヲ致シタモノガアルノデアリマス、近頃大乘的ニ物ヲ考ヘルトカ、大乘的々々ト云フ言葉ガ流行リマスガ、大乗ノ裏ニハ小乘ガアル、其ノ小乘的ノ考ヘ方ハドウデアルカト云フト、所謂此ノ慾ヲ捨テ、悟ヲ開カウト云フノデアリマス、我々ノ此ノ慾其ノ儘ガ所謂悟ヲ開クコトニナル、煩惱即菩提トカ、娑婆即寂光土ト云フノガ即チ是デアル、是ガ所謂大乘的ノ考ヘ方デアルノデアリマス、コンナ御説教メイタコトヲ言フト、皆サンニ甚ダ失禮デアルガ、併シ物ハ其處迄ノ本能ニ基礎ヲ置イテ築キ上ガタナレバ決シテ倒レマセヌ、此ノ本能ヲ無視シテ築徹底シテ考ヘネバナラヌ、ソレデナケレバ此ノ大キナ問題ヲ取扱フ資格ハナイ、デ此ノ本能ニ基礎ヲ置イテ築キ上ガタナレバ決シテ倒レマセヌ、此ノ本能ヲ無視シテ築

キ上ガタモノハ直ニ倒レル、遠ク昔ノ「ヨーロッパ」ヤ支那ノ例ヲ引ク迄モナク、日本モ今ノ若イ人ノ考ヘタヤウナ制度ヲ實現シタコトガアル（所謂班田ノ制トカ、ロ分田ノ制度トカ、大化ノ新政ノ行ハレタノハソレデアリマス、決シテ長續クカト云フコトハ、イ、併シ今ノ世ノ申ニモ行ハレテ居ル、現ニ「ロシア」ノ實例ガアルデヤナイカ、是ハ劍ト軍隊ノ力ニ依ツテアノ制度ガ行ハレテ居ルノデ、何時迄是ガ續クカト云フコトハ、今誰ノ頭ニモ問題ニナッテ居ルノデアリマス、ドウシテモ人間ノ本能ニ基イタ經濟機構ノ制度、政治機構ニ致シマシテモ、此處ニ根據ヲ置イテ築キ上ゲタモノナレバ搖ギガアリマセヌ、此ノ間衆議院デ海軍大臣ガ「エヴォリューション」ト云フコトハ結構デアルガ、「レヴォリューション」ト云フコトハイケテイ、斯ウ云フ御言葉ガアリマシタ、ソコデ或衆議院議員ノ一人ガ、陸軍大臣ハ如何ニ考ヘテ居ルカ、海軍ト陸軍ノ考ヘ方ガ違フヂヤナイカト云フヤウナ質問ヲ爲サレタ方ガアルガ、私ハ陸軍ト海軍ニ考ヘ方ガ違フトハ見テ居ラス、皆サン御氣付ニナッテ居ルカドウカ知ラヌガ、或ハ陸軍大臣ハ近頃能ク流行ル所ノアノ革新ト云フ文字、是ハ我々學生時代ニハ餘程忌ミ嫌ウタ文字デアルガ、ソレガ今到ル所ニ革新ト云フ文字ヲ使ウテ居ル、然ルニ陸軍大臣ハ此ノ頃新聞ニ、今ノヤウナ氣持ヲ表ハス爲ニ、改新ト改メ、改新ト云フ文字ヲ御使ニナッテ居ル、又色々考ヲ持ツテ居ルガ、ソンナニ途方モナイコトガ出來ルモノンデヤナイト云フヤウナコトヲモ洩サレテ居ル、私ハ陸海軍大臣、又陸海軍ノ間ニ、サウ云フ點ニ付テ考ヘテ居ルカ、個人主義ヲドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカ、アナタハ如何ナル御考ヲ御持

デアルカト云フ質問ニ對シ、全體主義デモナイ、個人自由ノ主義デモナイ、私ハ皇道主義ヲ心カラ……今サウ云フコトヲ彼此言フノデヤナイ、モウ疾キニサウ云フ考へ方ヲ私共ハ鼓吹シテ居ルノデアルト云フ御言葉デアリマシタ、所謂萬民其ノ處ヲ得テ、サウシテ結局天皇ニ歸一シ奉ル、是ガ所謂天皇陛下ノ仰セラレタ、正ヲ履ミ中ヲ執ルト同時ト仰セラレタアノ勅語ノ意味ハソレナシデアル、所謂中道ヲ歩メトノ仰セデアル、皇道ナルモノハ全體主義ノ長所ヲ執ルト同時ニ、又個人主義、自由主義ノ長所ヲ採入レテ歩ンデ行カウト云フ、是ガ所謂日本精神神デアルノデアリマス、コンナ風ニ考ヘテ見マスト云フト、斯ウ云フ考ヲ基調トシテ者ヘタ時ニ、結論ハドウナリマスカ、私ガ申上ゲル迄モナク、滿洲ニ於テ此ノ土地ノ所有權ヲ否認スルナンテ以テノ外デアツテ、殊ニ如何ニシテ滿洲ニ於テ所有權ヲ確立シタカト云フコトヲ私ハ調べテ見マスト云フト、昭和十一年ノアノ日滿間ニ取結バレタ條約ニ依ツテ、康徳二年ノ七月一日カラ「日本臣民ハ土地ノ所有權、地上權、永佃權、地役權、典權、土地質借權等土地ニ關スル一切ノ權利ヲ取得ス」此ノ條文デハッキリト取極ガ出來タノデアリマス、此ノ取極ヲ爲ス迄ニ、我々ノ先人ガ如何ナル犠牲ヲ拂ハレタカ、我が日本ハ如何ナル犠牲ヲ拂フテ今日ニ至ツタカト云フコトヲ、今ノ若人ハ能ク考慮シテ貴ハヌト困ル、又一舉ニシテ斯ウ云フ大事ナ所有權ヲ取去ルコトニ依ツテ、將來ニ如何ナル影響ガ及ブカト云フコトヲ、中デ論議ヲスルナント云フコトハ怪シカラヌ、又内地カラ掛ケラレタ要路ノ方々ガ黙黙トシテ、決議ハシテ來ヌダトカ何トカ云フ……何ニシタ所ガ、ソレヲ内地迄持ツテ歸

ルト云フコトハ、私ハ驚カザルヲ得ヌノアリマス、其處ニ何カ恐ルベキモノガアルノデアリマスカ
〔副議長候爵佐佐木行忠君議長席ニ著ク〕
私ハ一介ノ老書生ヲ以テ任ジテ居ル者デアルガ、堂々此ノ演壇ヲ通シテ斯ク絶叫致シテ居ルノデアリマス、ソコデ御尋ネ致スコトハ、對滿事務局ノ總裁デアラレル陸軍大臣ハ、此ノ問題ニ對シテ如何ニ御考ニナツテ居ラレルカ、如何ニ又之ヲ處理セムトナサリテイラッシャルカ、又内地カラ移民ヲ送ラル大キナ責任ヲ持テイラッシャル拓務大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居ルカ、率直ニ御示フ願ヒタイノデアリマス、必ズ普段ニ於テ是ダケノ質問ニ對シテ答ヘルダケノ御準備ハモナク貴衆兩院ヲ通ジテ全會一致、本日ハ出來テ居ルコトト思ヒマス、尙最後ニ今三分時間ヲ頂戴致シタイノデアリマス、モリマス、又九十何件ノ澤山ノ法律案モ、枝葉末節ニ於テ少々ハ修正サレタヤウナモノノ可決サレルコトニナルノデアリマス、全ク絶對ニ現内閣ヲ信頼シタ結果デアルノデアリマス、又相当奮發シテ貴ヒタイト云フコトヲ、彼ノ衆議院ノ決議ヲ尊重シテ實現スルヤウニトシナラヌノハ、此ノ間演壇ニ立ツテ農村ノ使命ニ顧ミテ、是非部落團體ノ助成ノ爲ニ、院ニ於テハ、此ノ追加豫算ニ現レテ來タモノハ、自分等ノ期待ト大分隔ツテ居ルモノデアルト云フコトデアツカガ、全豫算ヲ通シ云フコトヲ御願ヒ申シテ置キマシタ、衆議院ニ於テハ、此ノ追加豫算ニ現レテ來タモノハ、自分等ノ期待ト大分隔ツテ居ルモノデアルト云フコトデアツカガ、全豫算ヲ通シ云マシテ凡ソ千八百餘萬圓、此ノ追加豫算ダケデモ千三百餘萬圓バカリ此處ニ提案サレテ居リマス、總理大臣初メ農林、大藏兩大臣ノ他閣僚諸公ハ、此ノ輿論ヲ尊重シテ、

直チニ是ダケノ提案ヲサレタト云フコトハ、
衆議院デハ額ガ少イトカ何トカ言フ人モア
リマシタガ、私共モ實ハモット多額ナルコト
ヲ豫期シテ居リマシタケレドモ、此ノ財源ニ
ガ時節柄如何ニシテ捻出サレタカト云フコ
トヲ考ヘマスト、決シテツンナコトヲ言フ
場合デヤナイ、此ノ血ノ滲ムヤウナ財源ニ
依ツテ得タ所ノ、此ノ二千萬圓近クノ金、私
共農村指導ノ任ニ當ル者ハ、如何ニシテ有
效ニ之ヲ使フベキカト云フコトヲ只今カラ
深ク苦慮致シテ居ルヤウナ始末デアリマス、
今百億ノ大豫算ヲ絶對信賴ノ下ニ、殊ニ軍
事豫算ノ如キハソレコソ黒蓋ノ儘御任セ
ヲ致シタ、私之ヲ如何ニ有效適切ニ使フベ
キカト云フコトニ付テハ、總理大臣ノ責任
ハ最モ重イト思フ、又此ノ豫算ノ大半ヲ御
使ヒ下サル所ノ陸海軍大臣ノ御苦勞ハ、實
ニ御察シ申上ゲマス、ドウカ貴衆兩院議員
デハナイ、此ノ一億ノ日本國民ノ信賴ニ如
何ニシテ應ヘベキカト云フコトヲ十分御考
へ下サイマシテ、ドウカ御自重アラムコト
ヲ切ニ御願ヒ申上ゲマス

ト考ヘル次第デアリマス
（國務大臣八田嘉明君演壇ニ登ル）
○國務大臣（八田嘉明君） 小林サンノ滿洲ニ於ケル土地ノ問題ニ付キマシテハ、只今對滿事務局總裁ヨリ御付キマシテ、只今對滿事務局總裁ヨリ御尋ニ答ノアリマシタル通リデアリマスガ、移住事業ノ監督指導ニ當ツテ居リマスル拓務省ト致シマシテ、一言御答ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、御詫ノ如ク移住地ニ於ケル所ノ土地ノ問題ハ、我ガ日滿間ノ重要ナル國策デアリマスル滿洲移住國策ノ遂行ノ上ニ於キマシテ、極メテ大切ナル事柄デアリマシテ、拓務省ニ於キマシテモ最モ慎重大ル關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、從來御承知ノ通り滿洲ニ於ケル所ノ移住地ノ土地ハ、其ノ買收ナリ、或ハ又割振リナリハ、ニ向ツテ滿洲移住地ノ安定、又維持確保ト云滿洲拓殖公司ニ於テソレヽ、取扱ツテ參ツテ居ル譯デアリマス、此ノ點ニ於キマシテモ總テ徒ニ、土地ガ不當ナル移讓ヲサレ、將來ニ向ツテ滿洲移住地ノ安定、又維持確保ト云フコトノ動搖シナイヤウナ方法ヲ執ツテ居ルコトハ、御承知ノ通りアルノデアリマジテ、先頃一月ニ満洲ニ於テ一般ノ此ノ移住國策ニ對スル問題ガ協議セラレタノデアリマスルガ、此ノ問題ハ總テ色々々ノ事項ニ亘ツテ居リマスルガ、近ク拓務省主催ニ於キマシテ、我ガ國ニ於キマシテ此ノ既ニ試練ヲ經マシタル所ノ移住國策ニ對シマシテ、更ニ最近ノ情勢ノ下ニ十分ナル検討ヲ加へ、將來ニ向ツテ遺憾ナク此ノ大國策ガ遂行セラレマシテ、日滿兩國ノ永遠ナル發展、不可分關係ノ強化ニ付キマシテ、最善ノ方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リマスノデ、近ク我ガ國ノ官民各方面ノ關係者、又滿洲國ニ於ケル所ノ關係當局ト十分懇談ヲ致シマシテ、アリマスガ、其ノ點ハ只今對滿事務局總裁

ヨリ御答ノアツタ通りデアリマスガ、拓務省ト致シマシテハ、要スルニ只今御説ノアリマシタル通り、我ガ移住者ガ、農業者ガ日滿不可分ノ此ノ原則ノ下ニ、満洲ニ於ケル所ノ建國ノ精神ニ合致シマシテ、東洋ノ永遠ノ所謂平和ニ貢獻セムガ爲ニ、努力セラレテ居ル其ノ志ニ對シマンテ

〔議長伯爵松平賴壽君議長席ニ復ス〕
又其ノ國策ニ對シテ障礙ノナイヤウナ、最善ナル方途ヲ講ズル積リデ居リマスルノデ、御了承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ段御答ヘ致シマス

○小林嘉平治君 簡單デアリマスカラ此ノ席カラ申上ゲマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

○小林嘉平治君 私ハ只今ノ兩大臣ノ御答辯ヲ以テ滿足致ス者デアリマスルガ、此處ニ少シク附加ヘテ置キタイコトハ、私共ガ先刻ノヤウナ主張ヲスルカラト云ウテ、私ハ決シテ所有權ガ絶對的ノモノデアルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、現ニ日本ノ今日ノ統制ナレタ此ノ時代ニ於テハ、餘程縮小サレテ居リマス、其ノ收益權ニ於テ、其ノ使用權ニ於テ、從ダテ滿洲ニ於テハ適當ニ又之ヲ制限スルト云フヤウナコトモ必要デアラウト思フ、又アノ會議ニモ現ニ家產制度ヲ試ミタラドウカト云フヤウナコトモアツタヤウデアリマス、斯ウ云フ問題ハ私共モ考ヘテ見タ問題デアルガ、「フランス」ニ於テハ既ニ失敗シタ例モアリマス、アリマスガ斯ウ云フ點ニ付テモ餘程御考ヘ下サル必要ハ勿論アルト思フテ居ルノデアリマス、唯野暮ニ所有權ノ絶對性ヲ私共ハ主張スルノデナイト云フコトヲ茲ニ附加ヘテ置キマス、モウ一つ附加ヘテ置キタイコトハ、斯ウ云フ新ラシイ問題ニ觸レテ改革ヲシヨウト云フ若イ御方ハ、日本ガ明治以來僅カ十年代ノ間ニ、今日ノ此ノ勢力下位置ヲ如何ニシテ

贏得タカト云フコトヲ御考へ下サイ、一般ノ人ノ非難スル所ノ資本主義經濟ト言ヒマスカ、自由主義ト言ヒマスカ、私共ハサウ云フ名ヲ付ケルコトハ適當デアルカドウカ知リマセヌ、ガ兎ニ角今日迄ノ制度ガ今日ノ日本ヲ產ミ來シタノデアル、斯ウ云フヨトヲ能ク頭ノ中へ入レラレテ、惡イ事ハ改メネバイケマセヌ、決シテ世ノ中ハ完全ナモノデハアリマセヌ、所謂「エヴォリューション」ハ必要デアリマス、「エヴォリューション」ガナケレバ死ンダ無機物ト同ジデアリマス、デアリマスガ「思ヒラ茲ニ致シテ、サウシテ慎重ニ斯ウ云フ大キナ問題ハ取扱テ戴クヤウニ御願ヒ致ス次第デアリマス、今此ノ所有權ノ問題ニ付テモ篤ト慎重審議マス、重ネラレムコトヲ切ニ御願ヒ申上げテ置キマス

ヲ表スル次第アリマス、然リト雖モ率直ニ申上ゲテ見マスルナラバ、私ハ之ニ満足スル者デハナイノデアリマス、否寧ロ其ノ金高ノ餘リ少キニ驚イテ居ルノデアリマス、承リマスレバ政府ハ貧弱町村救濟ノ思召ダト云フ風ニ聞イテ居ルノデアリマスガ、貧弱ナラザル町村何レニアリヤト問ヒタイ、勿論全國一萬一千有餘ノ町村中ニ、富メル町村ナシトハ私モ申上ゲマセヌ、併シナガラ貧弱ナラザル町村ガ果シテ幾ツアリヤト弱ナラザル町村何レニアリヤト問ヒタイ、勿論全國一萬一千有餘ノ町村中ニ、富メル見マスルト、時局ノ關係ニ依リマシテ、全國的ニ吏員増員ノ急ニ迫ッテ居ルノデアリマス、少クトモ一町村平均二名ノ吏員増員問ヒタインデアリマス、現在町村ノ狀態ヲシテ一町村平均千圓、全國的ニ一千百萬圓ノ豫算ヲ必要トシテ居ルノデアリマス、窮乏ノドン底ニアリマス町村財政ニ於テ、此ガ必要デアルノデアリマス、豫算ニ致シマスルト、一部ノ町村ニ補助スルノダト、一部ノ町村ニノミ助成致シマシテ、以テ事足レリトシテ他ヲ顧ミズ、是デハ全國ノ町村ハ到底負擔ニ堪ヘ切レヌト信ズルノデアリマス、殊ニ今後更ニ増加サレムト致シテ居リマスル國家總動員法ニ對スル色々々ナ事務、其ノ他幾多重要ナル事務ノ處理ニ、多大ノ支障ヲ來ス虞アリト私ハ深ク之ヲ憂ヘテ居ルノデアリマス、政府ハ此ノ際ニ如何ナル方法ニ依リマストモ財源ヲ捻出致シマシテ、以テ町村吏員ノ充實ヲ圖リ、銃後國防ノ完璧ヲ期スル必要アリト斯ク信ズルノデアリマス、此ノ點ニ對シテ御所見ヲ伺ヒタイ、現下町村事務ハ財政的ニ行詰ツテ居リ、又多年官僚的事務ニ禍サレマシテ、積極的ナルベキ機能ハ遺憾ナガラ、萎靡銷沈、遂ニ其ノ本領ヲ没却致シマシテ、所屬事務ノ一方面デアリマス

ル國、府縣、斯カル方面ノ委任事務ニノミ
全能力ヲ費シテ居ルノデアリマス、町村民ノ實
生活ト懸ケ離レタコトニバカリ其ノ能力ヲ
費シテ居ルノデアリマス、此ノ非常時局ニ直面
致シマシテ、銃後國民指導ノ大責任ヲ有スル
此ノ自治體ヲ斯クノ如キ状態ニ置キマスコ
トハ、甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマス、此ノ際
市町村自治ノ本質的意義ヲ明確ニシ、其ノ機
能ノ擴大強化ヲ基調トスル、根本的刷新ヲ
斷行致シマスルコトハ頗ル緊要ナリ、斯ク
信ズルノデアリマス、市町村自治機能ノ擴
大強化ヲ圖リマスニハ、先づ第一ニ小町村
ノ合併整理ニアリ、斯ウ云フ風ニ思ヒマス、
試ミニ昭和五年ニ行ハレマシタル國勢調査
ノ統計ニ基キマシテ、人口別、町村數ヲ見
マスルト、人口二千以内ノ町村、戸數ニシ
テ約四百戸以内ノ町村ガ全國ヲ通ジマシ
テ、マダ一千三百町村アルコトニナツテ居
リマス、爾來合併其ノ他ニ依リマシテ、一
年間ニ於ケル町村ノ移動状況ヲ見マスル
ト、或ハ三十箇町村、或ハ五十箇町村ノ、
僅カ力町村ガ移動シテ居ルニ過ギマセヌ、
誠ニ遲々タル状態ニアルノデアリマス、私
ハ此ノ際爾餘ノ小サナル町村ノ町村合併ニ
對シマシテハ、特ニ政府若シクハ府縣ニ於
キマシテ適當ナル獎勵ヲ爲シ、之ニ依テ財
政的基礎ヲ鞏固ナラシムルト共ニ、自治活
動ノ範圍ヲ擴大致シマシテ、其ノ自治機能
發揚上、必要ナル各種要件ヲ具備セシムル
必要アリ、斯クノ如キ觀念ヲ持テ居ルノデ
アリマス、此ノ點ニ對スル政府ノ御所見ヲ
伺ヒタク、其ノ次ハ政府ハ此ノ町村制中改
正法律案、簡單ニ申上ゲマスト、農會長ト
カ信用組合長トカ云フノハ、選舉ヲ用ヒズ
シテ町村會議員ニナレルト云フヤウナ案デ
アリマス、御承知ノ案デアリマス、提案ス
ルト云フ大分評判デアリマシタガ、ドウ云フ
理由カ之ヲ引込マセチヤツタ、此ノ市町村會
議員ノ素質ノ低下ハ申上ゲル迄モナク多年

ノ聲デ、其ノ必要ハ論ズル必要モナイト思ヒマス、私ハ政府ハ衆議院ニ於テ反対セラル、ヤウナル特選ノ案ニ依ラズ、寧ロ大正十五年法律第七十五號ヲ以テ削除シマシタ町村制第十三條、アノ町村會議員等級選舉制度ヲ復活シタラ宜ノゾヤナイカ、斯クル思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ、市町村本來ノ職務ハ產業・經濟・保健等デアリマスルガ、國家デ委任セラレテ居リマスル事務ハ納稅・學事・戸籍・兵事等、複雜繁多ヲ極メテ居ルノデアリマス、府縣廳ハ色々ニ課ヲ分チマシテ、各課毎ニ年々歲々役人ヲ増シ、色々ノ計畫ヲ御立テニナリマス、然レドモ是ハ皆市町村役場ヲ通ジテ、調査或ハ實施ヲ命ジテ來ルノデアリマシテ、役場吏員ト致シマシテハ、依然トシテ増員セラレテ居リマセヌ、而モ薄給デ手不足ナノデアリマス、從ツテ事務ノ處理ニハ多忙ヲ極メ、上級ノ官衙カラ命ゼラレマシタル調查モ、施設モ、何何レモ徹底ヲ缺イテ、全ク形式的ニ終ツテ居ルノガ實情デアルノデアリマス、近來色々ノ團體・組合等方數多く設立セラレテ居リマスルガ、其ノ間ニ於ケル連絡、指導等ニ當ル事務ハ、皆市町村役場デヤツテ居ルノデアリマス、而モ普通ノ農村ニ於テハ僅力ニ五六人ノ吏員ニシテ其ノ衝ニ當ツテ居ルノデアリマス、殊ニ支那事變發生後ニ於キマスル兵事關係事務、此ノ事務ハ殊ニ激増致シテ居ルノデアリマス、之ヲ列舉致シテ見マスルナラバ、第一ニ動員事務ノ處理デアリマス、充員ノ召集、馬匹ノ徵發、臨時召集ヲ受ケマスル等、常ニ細心ノ注意ヲ以チマシテ、迅速ナル處置ヲ執リ、宿直員ヲシテ臨機ニ備ヘシメ、其ノ都度當該家庭ヲ訪問視察致シマシテ、士氣ヲ鼓舞シ、又常ニ在者ノ所在ヲ明確ニ致シマシテ、出稼者或ハ旅行者ニ對スル等ノ連絡ヲ保チテ非常ニ備ヘテ居リマス、應召軍人ノ家族ニ對ス

ル扶助ノ公正妥當ヲ期スルガ爲ニ、常ニ總務ニ關係致シマスル一切ノ事務ハ、政府ノモノデモ府縣關係ノモノデモ、或ハ愛國婦人會、國防婦人會、或ハ孤兒、何レノ方面ニ關スルモノデモ皆市町村ガ扱ツテ居ルノデアリマス、其ノ他軍需品ノ調達輸送、整備、應召出征軍人ノ入退營、或ハ歸還將兵ノ歡送迎、出征將兵ノ慰問並ニ慰問品ノ發送、戰病死者又ハ傷痍者ノ生ジタル場合ノ措置、英靈ノ送迎、町村葬ノ執行、出征軍人並ニ傷痍軍人歸還後ノ補導、遺家族ノ慰問、人事相談、仲裁指導、或ハ遺家族ノ負債整理、遺家族ニ對スル勤勞奉仕、遺家族ニ對スル感謝生活ノ鼓吹、遺家族慰安會、祈願祭、慰靈祭ノ執行、銃後市町村民ノ精神教化ノ指導、物資調整事務ノ處理、勤勞倍加、生產增加ノ指導、消費節約、生活改善ノ指導、貯蓄ノ獎勵、獻金、獻納、軍事扶助資金ノ募集、失業者ノ轉業指導、時局ニ關スル各般ノ統計事務其ノ他ノ處理、戸籍事務ノ激増、防空知識ノ涵養、町村民ニ對スル時局ノ認識指導等、數へ來レバ數限りモナイノデアリマス、町村吏員ヲ倍加致シマシテモ、尙且間ニ合ハザル程事務ハ繁劇デアルノデアリマス、私ハ一昨年、事變チヨト前ニ村長ニナリマシテ、自分ガ其ノ事ニ關係致シテ居リマスルノデ能ク分シテ居ルノデアリマス、「ニュース」ノ傳フル所ニ依リマスト、昭和十二年度以降官吏ノ増員が四萬二千七百人、是ハ雇ヤ、傭員ハ數入レナイト云フ風ニ聞イテ居リマス、私ハ雇傭員合計シタラ或ハ五萬人ヲ突破シテ居ルンデヤナカト思フ、然ルニ町村吏員ハ只今申上ゲマシタ如キ劇務ニ追ハレテ居リナガラ、全國的ニ殆ド増員シテ居ラヌノデアリマス、市町村吏員ノ其ノ實情ヲ見マ

スル時 誠ニ同情ノ感ニ堪ヘナインデアリ
マス、政府ハ昭和七年五月、勅令第七十六
號ヲ以チマシテ、教育家ニ對スル待遇ヲ向
上セシメマシタ、即チ第一條ニ「市町村立小
學校長及訓導ハ尙任官ノ待遇ト但シ小學
校長ニシテ功績アル者ハ特ニ奏任官ノ待遇
ト爲スコトヲ得」ト規定サレ、第三條ニハ
「前條ノ規定ニ依リ、奏任官ノ待遇ヲ受クル
小學校長ノ待遇相當官等ハ高等官五等以下
トス」ト改正ヲサレタノデアリマス、承ル
所ニ依リマスレバ、是ハ小學教員ガ他ノ官
吏等ニ比較致シマシテ、職責ガ重ニモ拘
ラズ、地位ガ低カツタガ爲ニ、斯ク改正サレ
タト傳ヘラレテ居リマス、誠ニ結構ナコト
デアルト思フ、又内務省デハ本年一月、書
記官中ノ勘キノアル人十九人ヲ専任待遇ニ
ナサレタノデアリマス、近頃ノ「ニュース」
ヲ拜見致シマスルト、文部省デハ六大學ノ
總長ヲ親任官ノ待遇ニシタ方ガ宜インデヤ
ナイカト云フノデ、御研究中ダト云フコト
ガ出テ居リマス、又最近デハ、遞信省ハ全
國八萬有餘ノ郵便配達或ハ電信配達、電信
電話ノ工事ニ從事シテ居リマスル工手、技
工、斯ウ云フ人々一齊ニ雇員ニ昇格ヲサ
セタ、更ニ十年以上勤續致シマシテ成績ノ
良イ者ハ一躍任官ノ待遇ニナレル途ヲ御
闡キニナツタノデアリマス、國家ノ爲ニ貢獻
致シテ居リマスル人々ニ對シ、優遇ノ御方
針ヲ執リマスルコトハ、誠ニ結構ナコトデ
愉快ニ感ズル次第デアリマス、然ルニ同ジ
ク國家ノ爲ニ貢獻シ、常ニ衆人ノ師表トシ
テ働くテ居リマスル市町村吏員ハ申上ゲ
ル迄モナク、人格的ニ市町村民ヲ指導シナ
ケレバナリマセヌ、社會教育ハ教育家ニノ
ミ任セテ置クベキモノデヤナイト思ヒマス、
私ハ市町村吏員ノ待遇ヲ改善シテ、適當ナ

人物ヲ當テガッテ、社會教育方面ニ十分ニ努
力ヲサセルノガ宜イヂヤナイカ、斯ウ云フ
風ニ思フノデアリマス、現在ノ市町村
吏員、殊ニ町村吏員ハ只今申上ゲマシタル
如ク、勞ハ極メテ多イニモ拘ラズ、給
料ハ實ニ僅カナモノ、ヤット糊口ヲ凌イテ
居ルニ過ギナイノデアリマス、ソンナ
譯デアリマスルカラ、人格手腕ノアル者ハ
此ノ市町村吏員ニナラナイ、厭ヒマス、
從ツテ東員ノ素質ハ年々低下致シテ來テ居
ルノデアリマス、市町村東員ノ職務ハ、只
今申上ゲマシタ如ク重大デアリマスニ拘ラ
ズ、而モ仕事ハ二人前、三人前ノ仕事ヲシ
テ居リマシテモ、一般他ノ社會ノ人々カラ
見マスルト、誠ニ僅少デモ勞働者ヨリモ
遙カニ劣ツテ居ルヤウナ現狀ナノデアリマ
ス、ソレモ此ノ社會的地位或ハ判任官ノ待遇
遇ヲサレルカトカ、或ハ高等官ノ待遇デモ
サレルトカ、又官吏ノ如クニ盡シタ者ナラ
バ、叙位叙勳ノ御恩典ニデモ浴シ得ルコト
ガ出來ルトスレバ聊カ慰メ得ラレルト思ヒ
マスガ、町村長ノ待遇ハ、ハキリトハ分リ
マセヌガ、私ハ判任官デヤナイカト思フ、
助役以下ノ吏員ハ雇ニモ及ビマセヌ、恩典
ニ浴シ得ルヤウナコトハ、殆ド期待出來ナ
イト思フノデアリマス、此ノ小學校ノ先生
ヤ或ハ地方三等郵便局ノ局長連ハ、何年カ勤
メルト從來何位勳等ニナレルノデアリマ
ス、地方へ宮様方御成ノ如キコトガアリマ
スル際ハ、町村民ハ當然御出迎ヘ或ハ御見
送ヲシナケレバナリマセヌ、サウ云フ場合
ニ其ノ土地ノ町村長ハ、其ノ町村ヲ代表シ
テ居リナガラ何等無位無勳デアリマスルガ
故ニ、此ノ三等郵便局長ヤ或ハ自己ガ平素
ヲ町村民ガ見マスト、何ダ俺ン所ノ村長ハ
小學校ノ先生ヨリ下カ、郵便局ノ誰君ヨリ

下カ、斯ウ云フ觀念ガ町村民ノ頭ニ染ミ込ミマシテ、自然ニ此ノ町村長ヲ、町村民ガ崇拜スルト云フ觀念ガ薄ラグノデアリマス、此ノ普通選舉ガ施行セラレマシテカラ、御承知ノ如ク無產ノ町村會議員ガ大分選出セラレテ居リマス、從ツテ無產ノ町村長モ各府縣ニ見受ケラレテ居ルノデアリマス、無位無勳、加フルニ無產、生活不安、サウ云フ重大責任ヲ背負ハシテ置イテ、ソレデ自治ノ刷新、農村ノ振興ガ出來マスカ、銃後ノ國防是デ完璧ナリヤト伺フノデアリマス、地方ノ町村民ハ其ノ町村長ヲ馬鹿ニシマシテ、其ノ指導ヲ受ケル者ハ無クナルト思ヒマス、假ニ指導ヲ受ケマシテモ、御尤ダト言ツテ之ヲ守ル人果シテ幾人アリヤト私ハ思フ、憂慮ニ堪ヘナイノデアリマス、自治ノ刷新ヲ圖ルト云フ御意思デアリマスナラバ、先以テ其ノ市町村吏員ニ人ヲ得ルコトデアリマス、適當ナル人物ヲ見付ケ、生活ニ安ンジテ、而モ眞剣ニ其ノ職務ニ精勵サセル、之ニアリト思ヒマス、綱紀ヲ肅正致シマシテ自治體ニ頻發致シマスル總テノ禍根ヲ芟除シ、市町村吏員ニ對スル國民ノ信賴ヲ厚ウサセ、之ガ優遇ノ途ヲ講ジマスルコトハ、現下ノ情勢ニ對シマシテ喫緊ノ要諦ナリト信ズルノデアリマス、支那事變ガ發生致シマシテカラ、此ノ官公吏ノ應召ガ大分アルノデアリマス、其ノ關係カラ下級ノ官公吏、殊ニ雇傭員ハ日夜激務ニ追ハレ、加フルニ物價ハ御承知ノ如キ騰貴デアリマス、生計困難、窮状實ニ同情ニ堪ヘザルモノガアリマス、近頃減俸復活或ハ下級官吏ノ増俸、斯ウ云フ議論ガ擡頭致シテ居リマスルガ、私ハ當然過ギル程當然デアルト思フ、官吏ニシテ斯クノ如シテアリマス、更ニ薄給ナル公吏ニ於テヲヤ、増俸ノ必要ア

ルハ論ズル迄モナイト思ヒマス、由來國家ガ此ノ地方自治ヲ認メマシタル所以ハ、此ノ國家ノ行政ヲシテ其ノ地方々々ノ實情ニ適合セシムガ爲デアルト云フ風ニ思フノデアリマス、官従ツテ之ガ自治體ノ吏員ニアリマセウトモ、其ノ實質上ノ職責ニ至リマシテハ、官吏ト何等擇ブ所ガナイト思フノデアリマス、官吏ト公吏ト其ノ實質ニ於キマシテ何等變リナキニモ拘ラズ、官吏ニ對シマシテハ御承知ノ如ク恩給法ノ設定モアリマス、其ノ他色々優遇ノ途方講ゼラレテアルノデアリマスガ、同ジク公務ニ盡瘁シテ居リマス此ノ公吏ニ對シマシテハ、全然顧ミマセヌ此ノ現状ハ、本員不敏、了解シ難イ、政府ハ速カニ市町村吏員ニ對スル待遇ヲ高メ、自治行政ニ全力ヲ傾倒スルノ責任ヲ持タセ、安んジテ公務ニ專念、精勵シ得ル手當支給ノ方策ヲ確立シ、更ニ敍位敍勳内規ヲ改正シ、又ハ褒章條例ヲ設定シ、精神的優遇ノ必要アリト信ズルノデアリマス、私ハ此ノ市町村ノ書記ニモ、小學校ノ訓導位ノ待遇ヲ與ヘテモ宜イト思フ、又多年勤績ノ町村長、或戸數一千戸以上モアル所ノ町村ノ町村長、或ハ手腕力量ガ卓越致シテ居リマスル町村長ナドニハ、高等官ノ待遇ヲ與ヘテモ過半ハシナイト思ヒマス、全國ノ各市長ハ全部高等官待遇ニシテモ宜イト思フ、殊ニ東京トカ大阪トカ云フ、斯ウ云フ大都市ノ市長ハ親任官ノ待遇ヲシテモ過ギハセスト思フ、六大學ノ總長ヲ文部省ガ親任待遇ヲ爲タル如ク、市町村長ハ銃後國防軍ノ部隊長、ハ東京・大阪ノ市長、此ノ二大都市ノ市長ノ如キハ親任待遇ノ御研究ヲ爲サツテ然ルベシト思フノデアリマス、只今申上ゲマシベシ其ノ指導者ヲ優待スペシ、是ガ銃後國防ノ完璧デアリ、國策遂行ニ忠ナル所以デアリマス、而シテ吏員ハ所屬ノ勇士ニアリマス、政府ハ銃後國防軍ヲ優遇スペシ、

アルト信ブルノデアリマス、政府ノ御所見ヲ承リタイ、只今申上ゲマシタル私ノ質疑ハ内務省所管デアリマスルガ、軍關係ノコトガ……殆ド仕事ハ軍關係ノコトデアリマス、殊ニ板垣國務大臣ノ御意見モ、内務大臣ト共ニ拜聽致シタインノデアリマス、會期切迫ノ折柄、長時間御邪魔致シマシテ、恐縮ニ堪ヘマセヌ(拍手)

○國務大臣候爵木戸幸一君、青木サンニ
御答ヲ致シマス、町村ノ今日此ノ非常時ニ當
リマシテ、事務ガ非常ニ激増致シテ居リマシ
テ、ソレニモ拘ラズ是等ノ事務ニ當リマス
ル、吏員ガ充實ガ伴ツテ居リマセス爲ニ、事務
ノ激増、非常ニ各方面ニ於テ困難ラシテ居
ルト云フコトハ政府ニ於テモ認メテ居ルノ
デアリマス、サウ云フ次第デアリマスルノ
デ、今回此ノ吏員ノ充實ノ費用ヲ計上致シ
タヤウナ次第デアリマシテ、此ノ問題ハ今
日アレダケノ充實助成費デ以テ十分足レリ
トハ考ヘテ居リマセス、更ニ實情ニ即シマ
シテ、十分ノ對策ヲ將來ニ於テ講ジタイト
考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ第
二ノ御尋デアリマシタ小サイ町村ノ合併ノ
問題デアリマス、小サイ町村ノ合併ニ付キマ
シテハ、從來モ是ハ獎勵ヲシテ居ルノデア
リマス、唯町村ノ沿革、歴史、又般々ノ事
情等ガゴザイマスノデ、之ヲ畫一的ニ整理
ヲ致シマスコトハ、餘程慎重ヲ要スルト存
ジマスルガ、今日交通機關其ノ他ノ發達カ
ラ致シマシテ、昔ノヤウナ意味ニ於テノ町
村ガ各分立シテ居リマスコトモ、必ズシモ
宜イトハ考ヘマセヌノデ、是等ニ付キマン
テハ十分將來、實情ニ即シク處置ヲ執ツテ
行キタイト考ヘテ居リマス、次ニ御尋デゴ
ザイマシタ、此ノ町村會議員ノ選舉ニ付キ
マシテ、等級選舉制ヲ復活サセル考ハナイ
カト云フ御尋デゴザイマシタ、普通選舉ニ
伴ヒマスル弊害ヲ除去致シマスル爲ノ一ツ

ノ手段トシテ、此ノ論ノアリマスコトハ屢々聞ク所デアリマス、此ノ問題ハ併シナガラ選舉制度乃至自治制度ノ根本ニ觸レマスル大問題デアリマス果シテ能ク之ニ依リマシテ所期ノ目的、改善ヲ達成シ得ルヤ否ヤ、又或場合ニハ却テ弊害ヲ助成スルコトガアリシニイカ、更ニ適切ナル、之ニ代ル具體案ヲ確立シ得ルヤ否ヤ、今日ノ普通選舉ニ代ル適切ナ具體案ガ出来ルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテモ、一遍普通選舉ヲ行ヒマシタ後ニ於キマシテ、往年ノ等級選舉制ニ直チニ還リマスレバ、ソレデ其ノ弊害ヲ除去シ得ルト云フコトニ付キマシテハ、餘程慎重ニ考慮ヲ要スルコトト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ十分ナル検討ヲ盡シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ最後ニ町村東員ノ優遇ニ付テ御尋ガゴザイマシタ、町村ノ東員ガ其ノ任務ガ極メテ重要デアリマスルコトニ付キマシテ、只今縷々ト御述ニナリマシタコトニ付テハ政府モ全ク御同感デアリマス、精神的優遇ト致シマシテ、敍勳ニ付キマシテハ昨年四月自治制五十周年ノ記念式典ニシマシテ、其ノ選敍ヲ進メラル、有難イ御沙汰ヲ拜シタノデアリマス、國家ノ待遇問題ニ付キマシテ只今色々御述ニナリマシタノデアリマス、唯此ノ問題ハ自治體ト官吏ノ通リデアリマス、私ハ此ノ問題ニ付キマス、又物質的ノ問題ニ付キマシテ今日非スルト云フ途ガ、果シテ最モ良イ方法デアシテハ將來トモ十分盡力致シタイト考ヘテ居リシテハ必ずシモ國庫ヨリ手當ヲ支給シ助成常ニ町村東員ガ溝繪デアルト云フ點モ御話ノ通リデアリマス、私ハ此ノ問題ニ付キマス、又物質的ノ問題ニ付キマシテ今日非スルト云フ途ガ、果シテ最モ良イ方法デア

居リマス、之ガ爲ニハ中央地方ヲ通ジテノ
稅制ノ根本的解決ヲ圖ルト云フコトガ最モ
必要デアリマス、政府ハ今回此ノ稅制改革
ヲ加ヘマシテ、成果ヲ得タイト考ヘテ居ル
ヤウナ次第デアリマスガ、自治制ノ改正ト云
相俟チマシテ、將來ニ於テハ此ノ點ニ付テ
ハ、基礎ノアル立派ナ自治制ノ確立ト云フ
コトニ付テ、十分考慮シタイト考ヘテ居リ
マス、要スルニ御尋ノ點ニ付キマシテ、自
治制ノ刷新上極メ有益ナル御意見デアリ
マシテ、政府ト致シマシテハ十分御話ノ點
ヲ尊重シマシテ、對策ニ當リタイト考ヘテ
居リマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 是ニテ休憩ヲ致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會致シマス
午後零時十二分休憩

午後一時四十四分開議

○議長(伯爵松平頼壽君) 報告ヲ致サセマス
〔丸龜書記官朗讀〕

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
輕金屬製造事業法案可決報告書
帝國鑄業開發株式會社法案可決報告書
工業組合法中改正法律案可決報告書
昭和十二年度第一豫備金支出ノ件、昭和
十二年度特別會計第一豫備金支出ノ件、
昭和十二年度特別會計豫備費支出ノ件、
昭和十三年度第二豫備金支出ノ件、昭和
十三年度特別會計第二豫備金支出ノ件、
昭和十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫
算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報
告書

關稅定率法中改正法律案可決報告書
昭和七年法律第四號中改正法律案可決報
告書

○議長(伯爵松平頼壽君) 休憩前ニ引續キ
マシテ午後ノ會議ヲ開キマス、菊池男爵ヨ
リ午前ノ會議ニ於ケル自己ノ發言ニ關シ、
一身上ノ辯明ヲ爲シタキ旨ノ要求ガゴザイマ
シク、之ヲ許可致シテ御異議ハゴザイマ
セヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス、菊池男爵
(男爵菊池武夫君演壇ニ登ル)

○男爵菊池武夫君 午前發言ヲ求メマス際
ニ、委員長ノ報告ガ、意味ガ少シク違ヒハ
シナイカト申シテ居リマスルガ、意味ノ違
ヒト云フコトハ毫モゴザイマセヌノデ、過
リデゴザイマシタカラ取消シマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 長野忠次君

議長（伯爵松平賴壽君）長
（長野忠次君演壇ニ登ル

○長野忠次君　會期切迫ノ折柄、殊ニ前席ニ歎烈ナル質問ニ依テ時間ヲ長ク取りマシタ關係上、茲ニ重ネテ貴重ノ時間ヲ戴キマスコトハ誠ニ恐縮ニ存シマスルケレドモ、御許ヲ得テ大陸資源ノ開發並ニ國內生産ノ擴充ニ關シ、率直ニ所感ヲ吐露シテ政府當路ニ御伺ヒシタイト思フノデアリマス、今次聖戰ノ目的ハ、國家國民ノ總力ヲ結束シテ、三千年來鬱積シタル肇國ノ理想ヲ支那大陸ニ向シテ發揮セムトスルモノデアリマス、所謂八紘一宇ノ大理想ハ、東亞同文同種ノ民族ヲ我ガ皇道ノ傘下ニ收容シテ、日滿支ノ共存共榮ニ依テ東亞ノ平和、延イデハ世界ノ平和ヲ確保セムトスルモノデアリマス、皇室ノ向フ所、朝ニ鐵城ヲ屠リ、タニ堅壘ヲ拔キ、敵軍ノ重要根據地ヲ奪取シテ、國民政府ヲ一地方政權ニ墜落セシムルニ至ツタノデアル、翻シテ二十七八年及三十七八年ノ日清、日露ノ兩戰役ト比較シテ見マスル時ニ於キマシテ、其ノ規模ノ大、軍容ノ整頓、科學的戰術ノ進歩、全ク隔世ノ感ガアリマス、蓋シ過去ノ兩戰役ハ何レモ我ガ國運ヲ賭シテ明治維新ノ宏謨ヲ恢弘スルト共ニ、東洋ノ平和ヲ定ムテ爾來三十餘年、國運ノ發展隆々トシテ產業貿易ノ興隆トナリ、國家財力ノ擴充トナリ、其ノ發達進歩ノ跡ハ誠ニ著大ナルモノガアルノデアリマス、試ニ國民ノ所得額及國富增加ノ狀態ヲ一瞥シテ見マスル時ニ於キマシテ、此ノ表ニ瓦リマスト動モスレバ時間ガ長クナリマスカラ簡單ニ述べ、タイト思ヒマス、明治二十一年ノ國民所得ハ二億三千三百萬、日清戰爭所得ハ百六億三千五百萬圓ニ達シテ居リマス、更ニ國富……國ノ富デアリマス、本

邦ノ國富ハ明治三十八年ノ二百二十五億萬圓カラ、大正八年ハ八百六十億萬圓トナリ、大正十三年ニ一千二十三億萬圓、昭和五年一千百一億萬圓トナツテ居リマス、昭和五年ハ濱口内閣ニ於ケル金解禁前後ノ世界的產業沈衰ノ時期デアリマシタカラ、其ノ以後ニ於ケル國富ノ増進ハ又著シキモノガアリマシテ、今次事變勃發前三於ケル國民所得竝ニ國富ノ總額ハ著シク増進シタモノト見ナケレバナリマセヌ、其ノ一面ニ於キマシテ今回ノ事變ニ於キマシテハ、軍事費ノ支辨、陸海軍ノ裝備、生産貿易ノ擴充、内外資源ノ開發等ニ要スル豫算ハ本事變ヲ劃期トシテ一大躍進ヲ定メ「アジア」民族ノ一大結成ニ依テ世界ノ平和ヲ確保セムトスルモノデアリマスル、此ノ意味ニ於キマシテ我ガ一億萬ノ同胞ガ戰役ニ將タ銃後ニ各其ノ分ヲ竭シテ國家ノ財力ヲ此ノ一戰ニ傾ケタルコトハ亦已ムヲ得ナイコトデアルト存ズルノデアリマス、此ノ一大聖戰ニ依ツテ東亞ノ天地ニ漲ツテ居リマスル所ノ歐米依存ノ事大思想ヲ破毀シテ、「アジア」民族結成ノ爲ニ興亞ノ聖業ヲ完成スルコトニ付キマシテハ、今後幾十年ニ亘る連續的ノ奮鬪ト、一大建設ニ猛進セネバナラナイノデアリマス、是ハ現代ノ大和民族ガ後代國民ノ爲ニ謀セラレタル所ノ一大使命デアルト共ニ、後代民族モ亦今次聖戰ノ偉大ナル戰績竝ニ建設ノ跡ニ付テ深ク思ヲ致シ、前代祖先ノ志業ヲ承繼シテ其ノ偉蹟ヲ恢弘スルノ大責任ヲ持ツテ居ルコトハ固ヨリ當然ノコトデアルト存ジマス、古ヨリ懸軍長驅、戰役ノ效果ヲ完クセムトスルニハ、孫吳ノ兵法ニ所謂糧ヲ敵ニ取ルノ必要ガアルノデアリマス、徒ニ内國ノ財力ヲ傾ケ盡シテ大陸領土占有ノ慾望ヲ

充足スルコトハ、蓋シ聖戰ノ目的デハアリ
マセヌ、又徒ニ大陸ノ國土ヲ殖民地化シ
テ、大陸國民ノ血肉ヲ擰取シ、自家人身腹
ヲ肥ヤサムトスル西歐國民ノ輒ニ傲フベキ
デハナインデアリマシテ、多年西歐各國ガ
鴉巢ノ慾ヲ逞シウセムガ爲ニ、我ガ東亞大
陸ノ蒼生ヲ苦シシタル其ノ後ニ於キマシテ、
支那大陸ノ資源ヲ十分ニ利用開發シテ、日
滿支民族ノ共存共榮ヲ圖リ、「アジア」ノ爲
ノ「アジア」ヲ建設シテ、後代國民ノ爲ニ大
和民族ノ根幹ヲ培養強化スルコトハ長期建
設ニ伴フ所ノ潔緊要務デアルト存ジマス、
此ノ見地カラ致シマシテ政府ハ北支及中南
支ニ新政權ヲ擁立致シマシテ、支那民族ノ
更生ヲ圖ルト共ニ、北中南支各方面ニ國策
的ノ大社團ヲ組織シ、銳意大陸資源ノ開發
ト大陸文化竝ニ政治ノ伸張ヲ企圖セラルル
コトハ、我等國民ノ臺閣諸公ニ向ツテ感謝ス
ルト共ニ、國民トシテ最モ意ヲ強ウスル所
デアリマス、之ガ爲ニ巨額ノ豫算ヲ要スル
コトハ固ヨリ當然デアリマスルガ、今後日
支ノ提携ニ依ッテ、大陸ノ經營ハ專ラ大陸ノ
資源ニ依ツテ之ヲ充足スルノ用意ハ極メテ必
要デアルト思フノデアリマス、時間モゴザイ
マセヌカラ、其ノ具體的ノ條項ニ亘ツテ御尋
ねスルコトヲ止メマシテ、此ノ原則的考ヘ方ニ
付キマシテ、政府當局ニ於カレマシテハ、此ノ
大陸ノ資源ニ依ツテ大陸ノ經營ヲ充足スルノ
用意ト確信アリヤ如何ト云フコトニ付テ御
尋ネシタイノデアリマス、進ンデ防共協定ノ
趣旨ヲ敷衍シテ、大陸經營ノ鳳翼ヲ伸張シマ
シテ、支那大陸ヨリ中央「アジア」ヲ貫通シテ歐
亞ノ交通ヲ促進シ、或ハ航空路ノ擴充ニ依ツ
テ、歐亞連絡ノ大業ヲ實行スルニ付テ如何ナ
ル考ヲ持ツテイラシシヤイマセウカ、之ガ爲ニ
ハ三億ニ跨ル回教民族トノ修交竝ニ其ノ信
賴ヲ獲得スルノ必要アリト云フコトハ無論ノ
コトデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ此ノ
中央「アジア」ヲ突破スルコト、更ニ歐亞連絡

ノ航空路ト云フコトニ付テ、今直チニト云フ
コトハ分リマセヌガ、之ニ付テノ御所見ヲ聽
キタイト思フノデアリマス、次ニ支那新興政權ノ
ニ於ケル第三國ノ權益ハ、支那新興政權ノ
擁立ニ關スル國策ニ矛盾セザル程度ニ於テ
之ヲ認メ、尙我ニ友好關係ヲ保持スル第三國
ノ資本ヲモ誘致シテ、逐次東亞大陸ノ建設
ニ邁進スルノ意思アリヤ否ヤ、東亞大陸ノ樂
土建設……樂土ノ字ヲ落シマシタ、東亞大陸
ノ樂土建設ニ邁進スルノ意思アリヤ如何ト
云フコトニ付テ御尋ネシタインデアリマス、
次ニ内國資源ノ開發竝ニ貿易ノ強化ニ付テ
御尋ネシタインデアリマス、今次長期建設
ノ目的ヲ達成セムガ爲ニハ、國內ニ埋藏セ
ル内地資源ノ開發、各種生産ノ擴充竝ニ輸
出貿易ニ依ル外資ノ獲得ヲ舉ゲバナリマ
セヌ、現時科學的ノ戰備又ハ國內工業竝ニ
一般民需ノ資料トシテ、鐵〔ガソリン〕、石
油、羊毛、棉花、其ノ他必要ノ資料ヲ輸入
ニ仰ゲモノガ頗ル多量デアリマス、之ガ爲
ニ輸出入貿易ノ決済資金トシテ、近ク數箇
年間ニ於テ金ノ現送ヲナセル量ハ……茲ニ
數字ヲ舉グルコトヲ差控ヘマスルガ、相當
多額ニ上ツテ居ルモノト存ジマス、今事變ノ
當初ニ於テハ既往物資ノ「ストック」ニ依リマ
シテ、陸海軍ノ裝備、之ガ運營竝ニ民間需
要ニ役立テタノデアリマスルガ、從來ノ狀
態ヲ其ノ儘持續スル場合ニ於キマシテハ、
直チニ國內資料ノ枯渴トナリ、輸入材料ノ
梗塞トナリ、又ハ金現送ノ行詰リラ生ズル
コトハ、蓋シ火乍略ルヨリモ明カナルモノ
ガアルカト存ジマス、政府ハ產金ノ獎勵若
シクハ退藏金ノ蒐集ニ付テ萬遺憾ナキヲ期
セラレテ居リマスルノデアリマスルガ、退
藏金ノ如キハ一度蒐集スレバ、其ノ量ニ限
リアリ、產金ノ額ニ於テハ假令相當ノ増產
ヲ所期スルモ、貿易ノ決済資金ヲ專ラ之ニ
依存スルト云フコトハ、蓋シ甚ダ困難デア
ルト存ジマスル、今國內資源ノ開發、例へ

バ國内ニ埋藏セル石油油源ヲ開發シ、或ハ石炭ノ液化ニ依リ、人造石油ノ豊富ナル供給ニ依シテ巨額ノ……態ト數字ヲ擧ガマセス、巨額ノ外國輸入資金ヲ輕減スルガ如キ、或ハ羊毛、棉花其ノ他國內必需品ハ、國內ノ生産又ハ代用品ニ依シテ之ヲ充足シマシテ、更ニ國內ノ生産ヲ擴充シテ輸入ヲ輕減スルノミナラズ、國內ノ需要ヲ充足スル上ニ更ニ輸出貿易ノ振興ニ依ル外貨ノ獲得ヲ爲スコトガ出來マスナラバ、事變下ニ於ケル物資即チ金ナリトノ原則ニ依リマシテ、獨リ產金ノ獎勵又ハ退藏金ノ蒐集ニ浚頭スルノ必要ハナイカト存ズルノデアリマス、附加ヘテ申シマス、產金ノ獎勵若シクハ退藏金ノ蒐集ヲ以テ無用ノ業ナリト言フノデハアリマセヌ之ニ偏傾スルノ必要ハナイ、寧ロソレ以上ノ必要ヲ私共ハ認メテ居ルノデアリマス、斯クノ如キ見地ヨリ私ハ一步進ンデ、我ガ國蠶絲業ニ向シテ私ノ所論ヲ申上ゲタイト思フデアリマス、既往數十年間輸出貿易ノ大宗トシテ、農家副産業ノ王座ヲ占メタル蠶絲生産ノ擴充ニ付テ、特ニ此ノ際重大ナル關必ヲ要請スルノ必要ガアルノデアリマス、所謂蠶絲業ハ本邦輸出貿易ノ花形トシテ、大正十一年ノ對外貿易總輸出價格ニ對スル四割八分ノ比率ヲ最高ト致シマシテ、大正十四年ノ總輸出價格二十三億五百萬圓ニ對シマシテハ、蠶絲類ノ輸出金額ハ四十四「パーセント」此ノ金額實ニ一千九百萬圓ニ達シテ居リマス、爾來世界的不景氣ノ襲來ト、人造絹絲ノ擡頭ニ依シテ絹織物ノ領域ヲ侵蝕セラレマシテ、漸次其ノ比率ト數量ヲ減少シタノデアリマス、チヨット之ニ付テハ簡單ニ申上ゲタイ思ヒマス、昭和九年輸出總額二十一億七千萬圓、昭和十一年輸出總額ハ三十一億七千萬圓、十二年輸出總額ハ三十一億七千萬圓ニ增加シ、十三年ハ事變ノ影響ヲ受ケ

千五百萬圓ニ上シテ居リマスルガ、同時ニ蠶絲類ノ輸出總額ハ四億九千四百萬圓ニナシテ居リマス、十二年ハ事變下ニ於ケルガ、總額二十六億八千九百萬圓ニ對シテ四億二千萬圓ヲ維持シテ居リマス、率ハ最高率四十八「パーセント」ヨリ昭和十三年ハ十五「パーセント」六ニ下シテ居リマス、今蠶絲ノ輸出金額ノ激減ノ原因、之ヲ詳細ニ述べルコトハ徒ニ時間ヲ費スコトヲ惧レマス、唯其ノ梗概ヲ申述ベマスレバ、御承知ノ通り本邦蠶絲ニ需要ハ北米合衆國ヲ最大顧客トシテ居リマス、從來同地ニ於ケル生絲ノ消費ハ、過日農林大臣ノ言明セラレタル通り、廣幅織物七八割、靴下二三割デアツタノガ、人造絹絲ニ依シテ漸次廣幅織物リマス、是方生絲需要減少ノ最大原因デアリマスルガ、幸ニ靴下方面ニ於テハ專ラ本邦ノ優良生絲ヲ愛用シテ居ルカラ、現時若干ノ輕減ハ誠ニ致シ方ナインデアリマスケレドモ、事變前、昭和十二年ニハ四億九千萬圓、事變後、昭和十三年ニハ四億二千萬圓、圓ト云フコトハ申述ベタ通リアリマス、純然タル國產品トシテ依然農村副業ノ首座ヲ占ムテ、之ガ一進一退ハ直チニ事變下國策ノ運用ニ甚大ノ影響ヲ生ズルト云フコトハ皆様御承知ノ通リデアルト存ジマス、試ニ近時長足ノ進歩ヲ爲シタル所ノ人造絹絲ノ如キ、之ヲ比較ノ爲ニ申上ゲテ見マスレバ、昭和七年六千五十三萬圓ノ輸出額ヨリ累進シテ、昭和十二年一億五千四百八十六千萬圓ニ増加シ、十三年ハ事變ノ影響ヲ受ケ

千五百萬圓ニ上シテ居リマスルガ、同時ニ蠶絲類ノ輸出總額ハ四億九千四百萬圓ニナシテ居リマス、十二年ハ事變下ニ於ケルガ、總額二十六億八千九百萬圓ヲ維持シテ居リマス、率ハ最高率四十八「パーセント」六ニ下シテ居リマス、今蠶絲ノ輸出金額ノ激減ノ原因、之ヲ詳細ニ述べルコトハ徒ニ時間ヲ費スコトヲ惧レマス、唯其ノ梗概ヲ申述ベマスレバ、御承知ノ通り本邦蠶絲ニ需要ハ北米合衆國ヲ最大顧客トシテ居リマス、從來同地ニ於ケル生絲ノ消費ハ、過日農林大臣ノ言明セラレタル通り、廣幅織物七八割、靴下二三割デアツタノガ、人造絹絲ニ依シテ漸次廣幅織物リマス、是方生絲需要減少ノ最大原因デアリマスルガ、幸ニ靴下方面ニ於テハ專ラ本邦ノ優良生絲ヲ愛用シテ居ルカラ、現時若干ノ輕減ハ誠ニ致シ方ナインデアリマスケレドモ、事變前、昭和十二年ニハ四億九千萬圓、事變後、昭和十三年ニハ四億二千萬圓、圓ト云フコトハ申述ベタ通リアリマス、純然タル國產品トシテ依然農村副業ノ首座ヲ占ムテ、之ガ一進一退ハ直チニ事變下國策ノ運用ニ甚大ノ影響ヲ生ズルト云フコトハ皆様御承知ノ通リデアルト存ジマス、試ニ近時長足ノ進歩ヲ爲シタル所ノ人造絹絲ノ如キ、之ヲ比較ノ爲ニ申上ゲテ見マスレバ、昭和七年六千五十三萬圓ノ輸出額ヨリ累進シテ、昭和十二年一億五千四百八十六千萬圓ニ増加シ、十三年ハ事變ノ影響ヲ受ケ

テ一億一千五百萬圓ニ減少シテ居リマス、其ノ生産數量ハ世界第一ノ北米合衆國ト雁行セムトスルト云フ程度迄増進シテ居ルニ拘ラズ、其ノ輸出額ハ尙遙カニ天然ノ絹絲ノ下位ニ居リマス、加フルニ人造絹絲、或ハ綿絲布、毛織物等ハ其ノ原料ノ大部分ヲ海外ノ輸入ニ依存スルニ比較シマシテ、天高率四十八「パーセント」ヨリ昭和十三年ハ十五「パーセント」六ニ下シテ居リマス、今蠶絲ノ輸出金額ノ激減ノ原因、之ヲ詳細ニ述べルコトハ徒ニ時間ヲ費スコトヲ惧レマス、唯其ノ梗概ヲ申述ベマスレバ、御承知ノ通り本邦蠶絲ニ需要ハ北米合衆國ヲ最大顧客トシテ居リマス、從來同地ニ於ケル生絲ノ消費ハ、過日農林大臣ノ言明セラレタル通り、廣幅織物七八割、靴下二三割デアツタノガ、人造絹絲ニ依シテ漸次廣幅織物リマス、是方生絲需要減少ノ最大原因デアリマスルガ、幸ニ靴下方面ニ於テハ專ラ本邦ノ優良生絲ヲ愛用シテ居ルカラ、現時若干ノ輕減ハ誠ニ致シ方ナインデアリマスケレドモ、事變前、昭和十二年ニハ四億九千萬圓、事變後、昭和十三年ニハ四億二千萬圓、圓ト云フコトハ申述ベタ通リアリマス、純然タル國產品トシテ依然農村副業ノ首座ヲ占ムテ、之ガ一進一退ハ直チニ事變下國策ノ運用ニ甚大ノ影響ヲ生ズルト云フコトハ皆様御承知ノ通リデアルト存ジマス、試ニ近時長足ノ進歩ヲ爲シタル所ノ人造絹絲ノ如キ、之ヲ比較ノ爲ニ申上ゲテ見マスレバ、昭和七年六千五十三萬圓ノ輸出額ヨリ累進シテ、昭和十二年一億五千四百八十六千萬圓ニ増加シ、十三年ハ事變ノ影響ヲ受ケ

テ一億一千五百萬圓ニ減少シテ居リマス、其ノ生産數量ハ世界第一ノ北米合衆國ト雁行セムトスルト云フ程度迄増進シテ居ルニ拘ラズ、其ノ輸出額ハ尙遙カニ天然ノ絹絲ノ下位ニ居リマス、加フルニ人造絹絲、或ハ綿絲布、毛織物等ハ其ノ原料ノ大部分ヲ海外ノ輸入ニ依存スルニ比較シマシテ、天高率四十八「パーセント」ヨリ昭和十三年ハ十五「パーセント」六ニ下シテ居リマス、今蠶絲ノ輸出金額ノ激減ノ原因、之ヲ詳細ニ述べルコトハ徒ニ時間ヲ費スコトヲ惧レマス、唯其ノ梗概ヲ申述ベマスレバ、御承知ノ通り本邦蠶絲ニ需要ハ北米合衆國ヲ最大顧客トシテ居リマス、從來同地ニ於ケル生絲ノ消費ハ、過日農林大臣ノ言明セラレタル通り、廣幅織物七八割、靴下二三割デアツタノガ、人造絹絲ニ依シテ漸次廣幅織物リマス、是方生絲需要減少ノ最大原因デアリマスルガ、幸ニ靴下方面ニ於テハ專ラ本邦ノ優良生絲ヲ愛用シテ居ルカラ、現時若干ノ輕減ハ誠ニ致シ方ナインデアリマスケレドモ、事變前、昭和十二年ニハ四億九千萬圓、事變後、昭和十三年ニハ四億二千萬圓、圓ト云フコトハ申述ベタ通リアリマス、純然タル國產品トシテ依然農村副業ノ首座ヲ占ムテ、之ガ一進一退ハ直チニ事變下國策ノ運用ニ甚大ノ影響ヲ生ズルト云フコトハ皆様御承知ノ通リデアルト存ジマス、試ニ近時長足ノ進歩ヲ爲シタル所ノ人造絹絲ノ如キ、之ヲ比較ノ爲ニ申上ゲテ見マスレバ、昭和七年六千五十三萬圓ノ輸出額ヨリ累進シテ、昭和十二年一億五千四百八十六千萬圓ニ増加シ、十三年ハ事變ノ影響ヲ受ケ

テ一億一千五百萬圓ニ減少シテ居リマス、其ノ生産數量ハ世界第一ノ北米合衆國ト雁行セムトスルト云フ程度迄増進シテ居ルニ拘ラズ、其ノ輸出額ハ尙遙カニ天然ノ絹絲ノ下位ニ居リマス、加フルニ人造絹絲、或ハ綿絲布、毛織物等ハ其ノ原料ノ大部分ヲ海外ノ輸入ニ依存スルニ比較シマシテ、天高率四十八「パーセント」ヨリ昭和十三年ハ十五「パーセント」六ニ下シテ居リマス、今蠶絲ノ輸出金額ノ激減ノ原因、之ヲ詳細ニ述べルコトハ徒ニ時間ヲ費スコトヲ惧レマス、唯其ノ梗概ヲ申述ベマスレバ、御承知ノ通り本邦蠶絲ニ需要ハ北米合衆國ヲ最大顧客トシテ居リマス、從來同地ニ於ケル生絲ノ消費ハ、過日農林大臣ノ言明セラレタル通り、廣幅織物七八割、靴下二三割デアツタノガ、人造絹絲ニ依シテ漸次廣幅織物リマス、是方生絲需要減少ノ最大原因デアリマスルガ、幸ニ靴下方面ニ於テハ專ラ本邦ノ優良生絲ヲ愛用シテ居ルカラ、現時若干ノ輕減ハ誠ニ致シ方ナインデアリマスケレドモ、事變前、昭和十二年ニハ四億九千萬圓、事變後、昭和十三年ニハ四億二千萬圓、圓ト云フコトハ申述ベタ通リアリマス、純然タル國產品トシテ依然農村副業ノ首座ヲ占ムテ、之ガ一進一退ハ直チニ事變下國策ノ運用ニ甚大ノ影響ヲ生ズルト云フコトハ皆様御承知ノ通リデアルト存ジマス、試ニ近時長足ノ進歩ヲ爲シタル所ノ人造絹絲ノ如キ、之ヲ比較ノ爲ニ申上ゲテ見マスレバ、昭和七年六千五十三萬圓ノ輸出額ヨリ累進シテ、昭和十二年一億五千四百八十六千萬圓ニ増加シ、十三年ハ事變ノ影響ヲ受ケ

如ク生絲ハ内外兩方面ニ於テ平時ニ倍シテ、其ノ機能ハ國際收支ノ調節ニ對シ、最モ緊切ノ關係ヲ持ツテ居リマスルカラ、時局柄蠶絲產額ノ増進ヲ計畫シテ、内外ノ需要ヲ充足スルコトハ、目下焦眉ノ要務デアルト考ヘマス、政府ハ今回提出ノ十四年度追加豫算案ニ於キマシテ、相當多額ノ經費ヲ計上セラレテ居ルヤウニ存ジテ居リマス、團體獎勵費、其ノ他事務費合セテ四百八十割轉入資金、速成桑園獎勵費、府縣及系統一、增收獎勵金、違作防止施設、病蟲害驅除

五萬圓ニ達シテ居ルカト存ジテ居リマス、此ノ重大使命ヲ有スル蠶絲ノ增產計畫ニ對シテ、政府當局ガ御苦心ノ跡ハ誠ニ明瞭ナリト言ハネバナリマセヌ、但シ假令五百萬ガ一千萬圓トナリ、又二千萬圓トナリマシテモ、時局下ニ於ケル蠶絲業ノ重大使命ニ考へ及ビマスル時ニ於キマシテハ、一面輸入防遏ト同時ニ輸出ノ兩方面ニ於ケル重大使命ニ對シテ、蓋シ當然ノコトデアルト

斯、尙國內ノ生絲ニ對スル所ノ需要ガ、或ハ米國市場ノ賣處ヲ減退スルノ虞アツテ、或ハ一部國民ノ贊澤、華美ノ慾望ニ誤ダテ用ヒラレルト云フヤウナコトガアリマスレバ、之ガ價格ノ統制ニ對シマシテハ、尙内外需給ノ調節ニ深ク考慮セラレマシテ、深甚ノ御考慮ヲ御願ヒ致シタイト存ジマス、固ヨリアリマスル、此ノ點政府當局ノ苦心ヲ諒ト角ヲ矯メテ牛ヲ殺スノ醫モアリマスルカラ、過度ノ人爲策ハ却テ經濟界ノ健全ナル動向ヲ停頓セシムルノ惡結果ヲ招來スルノ虞ガ

斯、昨年繭ハ減產ヲ致シマシテ、約一割三分程減少致シテ七千五百萬貫程ニ減リマシタ、又國內ノ消費ガ非常ニ増加致シマシテ、シマシテ深ク注意ヲ拂ッテ居ル所デアリマス、政府當局ノ御所見ヲ御尋ねシタイト思フノデアリマス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス

〔國務大臣男爵平沼駿一郎君演壇ニ登

ル〕

○國務大臣（男爵平沼駿一郎君）只今ノ御尋ハ多方面ニ亘ツテ居リマスルガ、其ノ中ノ我が大陸政策ニ關スル事項ニ付テノ御尋ガ度ニ於キマシテハ、御承知ノ通り此ノ生産增加ニ對スル所ノ費用ヲ御審議願ツタヤウナ譯デアリマス、即チ速成桑園ヲ設ケマシテ、或ニ共同豫備蠶兒飼育法ヲ設ケマシテ、萬繭ノ增產ヲ致シテ、生絲ノ增產ヲ致スコトガ最モ急務デアルト考ヘマシテ、本年モノガアルト思フノデアリマス、政府今回ノ追加豫算ノ實地運用ニ當ツテ、全國養蠶精神ノ作興ト桑園肥培ノ基本タル肥料ノ配給ニ、十全ノ御配慮ヲ希望シマスルノデアリマス、肥料ノ配給ハ獨リ蠶絲業ニ止マラズ、主要農業タル米穀其ノ他副農業ノ增產ニ最モ必要デアリマスルト共ニ、桑園ノ肥培ニ對シマシテハ、窒素若シクハ磷酸ノ如キハ成ルベク金肥ヲ節減シテ、自給肥料又

ハ國內生產ニ依ヅテ補給シ得ルコトガ出

ハ主管大臣ヨリ御答ヲ致シマス

〔國務大臣櫻内幸雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（櫻内幸雄君）只今御尋ノ申

ト相關聯シテ資源ノ開發ヲシテ、輸出ノ貿易ノ増加ヲ圖ラナレバナラヌ、而シテ輸出ノ大宗デアル所ノ生絲ニ付テハ特ニ力ヲ致サケレバナラヌコトデアツテ、之ニ對スル所ノ對策如何ト云フ風ナ御質問ノ御越旨デアツタト思ヒマス、此ノ生絲ニ對スル所ノ問題ハ、只今詳細御述ニナシタ如ク、全ク我ガ國ノ輸出上ニ於ケル重要ナル產物デアリマシテ、此ノ問題ニ付キマシテハ我々ト致シタ、又國內ノ消費ガ非常ニ増加致シマシテ、シマシテ深ク注意ヲ拂ッテ居ル所デアリマス、政府當局ノ御所見ヲ御尋ねシタイト思フノデアリマス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス

〔國務大臣八田嘉明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（八田嘉明君）長野サンノ御質

問ニ對シテ商工省關係ノコトヲ御答ヘ申上ゲマス、今次事變ガ勃發致シマシテ以來、自然物資ノ調整ヲ必要ト致シマスルノデ、此ノ關係上、國內ノ產業ニ對シマシテ必要ナル所ノ物資ノ配給ガ必ズシモ圓滑デナイコトハ申上ゲル迄モナインデアリマス、併シナガラ一方ニ於キマシテ、此ノ時局下ニ於キマシテモ國內產業ノ維持、殊ニ輸出產業ノ維持増進ト云フコトハ、誠ニ大切ナコトデアリマスルノデ、商工省ト致シマシテモ事情ノ許ス限り、此ノ方面ニ對シマシテハ、物資又原料ノ配給等ニ付キマシテ、最善ヲ盡シテ居ルヤウナ次第デアリマス、申シマスル所ノモノ、若シクハ其ノ他ノ纖維ス迄モナク我が國ノ輸出產業ノ主ナルモノヘ、只今御話ノアリマシタル蠶絲ノ原料ト致シマスル所ノモノ、若シクハ其ノ他ノ纖維工業ヲ中心ト致シマシタル所謂輕工業ニ屬スルモノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ、國內ニ資源ヲ求ムルモノ、若シクハシテモ出來ルダケ戰時ノ物資ノ配給、生産力ノ擴充ニ必要ノアリマスル資材ニ次イデハ、第一ニ輸出振興ニ必要ナル資材ノ配給ノ圓滑ヲ期シテ居ル次第デアリマス、今日ニ於キマシテモ是等ノ輕工業ハ、一般ニ其ノ工業能力ニ於キマシテハ相當ノ餘裕ガアリデゴザイマセヌ、其ノ他御質問ノ各事項

上、從來國內ノ消費ヲ制限致シテ居リマスル關係ケル所ノ消費ヲ制限致シテ居リマスル關係セ行シテ居リマスル所ノ工業ニ於キマシテハ、兎角其ノ「コスト」ガ高クナルコトヲ遺憾トルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテモ當局ト致シマシテハ出來ルダケノエフヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、次ニ蠶絲業ノコトニ付キマシテハ、只今農林大臣ヨリ御答ノアリマシタル通りリデアリマスルガ、商工省ト致シマシテモ、之ガ工業化竝ニ輸出ノ増進ニ付キマシテハ、一方ニ於キマシテ、其ノ價格ノ適正ヲ圖リ、一方ニ於キマシテハ、國內ノ農業經濟、又他方ニ於キマシテハ、輸出力ノ増進ト云フコトニ鑑ミマシテ、最善ヲ盡ス積リデ居リマス、此ノ段御答ヲ申上げマス

○長野忠次君　自席カラ御許ヲ願ヒマス

○議長(伯爵松平頼壽君)　宜シウゴサイマス

○長野忠次君　是ヨリ討論ニ移リマス、松井茂君、御登壇ヲ願ヒマス

ス

○長野忠次君　只今御答辯ヲ戴キマシタカラ、是デ私ノ質問ハ終リマス

○議長(伯爵松平頼壽君)　質疑ノ通告ハ是デ終リマシタ、是ヨリ討論ニ移リマス、松井茂君、御登壇ヲ願ヒマス

〔松井茂君演壇ニ登ル〕

○松井茂君　治安國策樹立問題ニ付キマシテ、此ノ會期切迫シテ居リマスル今日ニ、茲ニ文治豫算案ニ賛成ヲ致シマスルニ當リマシテ、平沼内閣ニ對シマシテ、殊ニ此ノ問題ニ付キマシテ希望ヲ述べマス所以ハ、何分ニモ此ノ問題ハ之ヲ外ニ致シマシテハ東亞ノ新秩序ノ問題トシテ、又之ヲ内ニ致シマシテハ國內問題トシテ、其ノ成績ノ舉ガルヤ否ヤト云フコトハ、一ニ繋シテ國民生活ノ上ニ多大ノ關係ヲ有スルカラデアリマス、又私ガ殊ニ茲ニ此ノ言ヲ爲ス所以ハ、平沼首相ハ多年司法官トシテ、殊ニ検察官トシテ、司法警察ノコトニ付テハ高見ガ深クアラセラルルノデアリマス、現ニ目下我ガ國ノ警察社會ヤ、又司法界ニ盛ニ行ハレテ居

リマスル所ノ、「ロッシエル」式ノ指紋法ハ、
曾テ首相ノ「ヨーロッパ」土産ノ賜モノデア
シマス、斯クノ如クニ、首相ハ歴代ノ内閣ト
異リマシテ、警察ノコトニ付テハ殊ニ御造
詣ノ深イコトト思ヒマスノデ、此ノ機ヲ逸
シマスルト誠ニ千載ノ憾ト存ジマスノデ、
此ノ貴重ノ時間ヲ借合致シマシテ、暫ク御
清聽ヲ煩ハス所以デアリマス、況ヤ豫算ト
治安問題トノ關係ハ、非常ニ重大ナル關係
ニアリマスルノデ、先般來多額ノ國費ニ付
キマシテノ協議ヲ遂ガラレタノデアリマス
ルガ、就中其ノ經費ノ中ニハ治安問題が頗
ル多量ヲ占メテ居ルノデアリマス、殊ニ上
海ノ租界問題ヲ初メ、外事警察ノ問題ハ言
フ迄モナク、又防共問題ノ如キハ獨り國內
警察ノ上ノミナラズ、東洋警察ト致シマシ
テモ、更ニ又國際警察ト致シマシテ迄モ、
最モ重大ナル意義ヲ有シテ居ルノデアリマ
ス、更ニ思想問題ノ如キモ時局ノ推移ニ伴
ヒマシテ、斷ジテ樂觀ヲ許サナイ狀況ニア
ルノデアリマス、我ガ國ハ國體上左傾
神ニ基キマシテ、臨機應變ニ事アレバ最モ
ヲ容レルコトノ出來ナイコトハ申ス迄モ
ゴザイマセヌガ、又斷ジテ右傾ノ國デモナ
イノデアリマス、全ク我ガ國ハ所謂皇道精
神ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルガ如キ所ノ行動ガ
強イ警察權ヲ振ハナケレバナラヌノハ、今
更言フ迄モナインデアリマス、併シナガラ
斷ジテ徒ニ忠君愛國ヲ口實ト致シマシテ、羊
頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルガ如キ所ノ行動ガ
アツテハ相成リマセヌ、此ノ點ニ付テハ特ニ
文武ノ官吏ハ、最モ嚴正ナル態度ノ下ニ、
我ガ皇國精神ヲ永遠ニ保持セネバナリマセ
ス、私ハ此ノ意味ニ於テ平沼首相ノ全體主
義ニ對スル解釋ノ如キハ、最モ時ノ宜シキ
ヲ得タルモノト存ジ、又其ノ解釋ノ最モ我
ガ皇道精神ニ適合シテ居ルコトヲ痛感シテ
居ル者ノ一人デアリマス、其ノ他風俗警察
ノ問題ノ如キモ、軍需工場ノ好景氣ニ伴ヒ
マシテ、奢侈ニ耽ルガ如キ所ノ現象ハ一面

精神教化ノ問題ト共ニ、警察官憲ニ於キマセヌ、併シナガラ是ハ實際問題ト致シマシテハ、矢張リ内閣ニ於テ非常ナル御決心ガナケレバ、警察官憲ト云フモノハナカニ、容易ニ出来ルモノデヤゴザイマセヌカラ、上下一致シテ官憲ガ方針ヲ確立スルニアラザレバ、到底空論ニ終ルノデアリマス、況ヤ此ノ事ハ大ニ出征軍人ノ反感ヲ買フノミナラズ、淳朴ナル農民ニ對スル惡影響ト云フモノハ、實ニ想像以上ノモノガアルノデアリマス、更ニ又火災問題ノ如キモ、近時軍需工業ノ隆盛ニ伴ヒマシテ、設備ノ不完全ヤ過度ノ勞役從事ノ爲ニ、之が原因ト相成リマシテ、其ノ他種々不完全ナル原因トガアリマシテ、之ガ爲ニ計ラズモ火災ガ殊ニ大工場ニ於テ、頻々起リツ、アルノデアリマス、枚方ノ火薬庫爆發事件ノ如キ、實ニ重大問題デアリマス、徒ニ口ニ盛ニ生産増進ト云フコトヲ唱ヘラレマシテモ、一朝ニシテ火災ニ見舞ハレルヤウナコトガゴザイマシタラバ、其ノ結果ハ帝國議會ノ豫算ノ遂行上ニ對シマシテモ、誠ニ申譯ノナイ次第デアリマス、ノミナラズ若シ又機械、器具ナドガ消失致シマシタ時ニハ、國防上ニ多大ノ影響ヲ及スノデアリマス、此ノ點カラ申シマシテ火災豫防及消防ノコトニ付キマシテハ、モットモット當局ハ深キ思ヲ致サレネバナラヌト存シマス、以上ハホンノ事變下ニ於ケル二三ノ實例ヲ申上ゲタニ外ナリマセヌ、併シソレモ見方ニ依リマシテハーツノ問題ダケデモ最モ重要性ヲ有シテ居ルモノデゴザリマスルカラ、決シテ輕率ニ看過スベキ限りリデハナイノデアリマス、併シ私ノ御伺ヒ致シタイト云フ趣旨ハ、以上ノ如キ生キタル問題ヲ前提ト致シマシテ、モット高イ所カラ治安上ノ國策問題ニ付シテ、内閣諸公ノ特ニ思ヲ致サレムコトヲ希望シテ已マザル次第デアリマス、先ヅ其ノ

第一ノ希望ノ點へ警察組織ノ再検討ノ問題
ナンデアリマス、經濟組織ノ統制化ガ時代
ノ要求デアリマスル以上、警察組織モ亦今
日ノ時代トシテハ、當然再検討サレネバナ
ラヌノデアリマス、萬一此ノ事變ニ當リマ
シテ特高警察上、緊要事變ガ發生致シタト
假定致シマシタ時ニ、政府ハ果シテ具體的
ナル所ノ方策ガ確立サレテ居ルノデアリマ
セウガ、先般「ドイツ」ト「オーストリイ」ガ
合併ニ相成リマシタ時ニ、茲ニ新タニ大「ド
イツ」國ト相成リマシタ時ニ、警察權ハ「ヒッ
トラー」總統ニ歸一シタノデアリマス、私ハ
其ノ時ニ「ドイツ」ノ雑誌ヲ見マシテ、直チ
ニ直感的ニ我ガ國ヲ思ヒ出シタノデアリマ
ス、ドウ云フコトヲ思ヒ出シタカト云フト、我
ガ國ハ御承知ノ通リニ國內ニ於テハ内務大
臣ガ警察權ヲ有シテ居ラレルノデアリマス、臺
灣ハ臺灣總督府、朝鮮ハ朝鮮總督府、三元論
ニナシテ居ルノデアリマス、ソコデ一旦緩急
ノアル時ニ於テ、特高警察ノ中ニ於テ、或
種類ノ非常事變ノ場合ニハ、斯ウ云フ時勢
デアリマスカラ、統制上首タル者ハ自ラ
命令權ヲ以テ命令一下、内務大臣カラ臺灣
總督、朝鮮總督ノ一絲索レナイ所ノ行動ヲ
行フコトハ、時代ノ要求デハアリマスマイ
カ、又之ヲ行フ組織ト致シマシテハ、首相
若シクハ首相代理トシテ此ノ三元ヲ打ッテ
一丸トスルコトガ、其ノ事變ノ性質ニ於テ
考ヘ置ケベキコトデハゴザイマスマイカ、
更ニ又國內非常事變ニ對シマシテモ、今カ
ラ大イニ思フ致シテ置カネバナラスト存ジ
マス、日比谷ノ騒擾事件、電車ノ燒打事件、
米騒動、五。一五事件、一〇二六事件、斯ク
ノ如キコトハ歐洲ニ於テモ、形ヲ變ヘマシ
テ種々ノ騒擾事件ト云フモノガ御承知ノ通
リ是レ迄アルノデアリマス、殊ニ歐洲戰爭
後ハ共產黨ガ各國ニ盛ニ相成リマシタノデ、
警察ノ警備ノ方法モ昔日ト大イニ趣フ異ニ
シテ來タノハ御承知ノ通リデアリマシテ、

各國共ニ非常警備ノ組織ト云フコトニ付テハ、頗ル注意ニ注意フ拂ッテ居ル所ノ現状デアリマス、例ヘバ警察官廳内ニ於ケル所ノ室内ノ警報機ト云フヤウナモノモ、完全ニ備ヘ付ケナケレバナラヌノデアリマス、又自動車ノ集中制度、警察官ノ集合制度等、大イニ考慮スル點ガ多々アルノハ申ス迄モナイノデアリマス、然ルニ目下ノ我ガ國ノ国情ハ如何カト云フノニ、東京以外ノ地方ニ於ケル所ノ非常警備組織ト云フモノハ頗ル不完全デアルノデアリマス、政府ハ宜シク百年ノ大計上、豫メ之ガ書簡ヲ講ジ置クベキコトハ、時節柄最モ必要ト存ズル次第ニ對シ、國內特別警備機關ノ完成ニ付テ忌デアリマス、右ノ事ニ付キマシテハ、時節柄重大問題ト存ジマスノデ、先般豫算委員會ノ席上ニ於キマシテモ、親シク内務大臣ニ對シ、國內特別警備機關ノ完成ニ付テ忌憚ナキ意見ヲ申上ゲタ次第デアリマスガ、何卒首相、大藏大臣等ニ於カレマシテモ、此ノ上ナガラ特ニ此ノ點ニ付テ實行上萬達算ナキコトヲ、時節柄大イニ御注意ニナシテ、悔ヲ千載ニ貽サナイヤウニ吳々モ御留意ヲ願ヒタインデアリマス、第二ノ問題ハ國民警察振興ノ問題デアリマス、御承知ノ通りニ防空法ノ結果、新タニ新警防團令ノ勅令ガ發布セラレマシテ愈、來ル四月一日カラ從來ノ消防組ト防護團ト打ツテ一丸トナリマシテ、茲ニ新タニ警防團ノ成立ヲ見ルニ至リツ、アルト云フ今日デアリマス、從來ノ消防組ハ、御承知ノ如クニ全國ニ二百萬人方ナドモ消防ノ組頭ナンゾーナッテイラツシヤッテ、近來ハ非常ナ好成績ヲ得テ居ルノデアリマス、然ルニ警防團ガ新タニ出來マスルノデ、先ヅ三百萬人デアツタ從來ノ消防組員ハ三百萬人以上ニナル見込ナンデアノ問題ト又一面ハ警察官ノ任務ヲ援助スル

ト云フ所ノ二項目ガ加ツタノデアリマス、ソコデ新警防團ハ、益、國家的警察機關タル色彩ガ濃厚ニナリ來ックノデアリマス、但シ純然タル官僚的ノ國家機關トハ異リマシテ、半官半民的ノ一種ノ義勇團トモ稱スベキモノデアリマス、ソレハ地方長官ガ市町村長ノ申請ト云フコトヲ原則ト致シテ設置セラレト云フ點カラ見マシテモ、明カナノデアリマス、要スルニ一種ノ國民警察團體ト申シテモ宜イノデアリマス、國民皆兵ト同ジヤウニ、外交ノコトモ今ヤ國民外交ノ時代トナリ來ツタノデアリマス、警察ノ如キ内務行政ノ範圍ニ屬スル性質ノモノニ付キマシテハ、國民皆警察デアラネバナラヌコトハ、餘リニ當然過ギル程ノ問題デアリマス、私ハ此ノ新警防團ノ設立ニ際シマンシテ、政府ガ此ノ國民警察ノ意義ヲ能ク了解セラレマシテ、警察國策ノ上ニ、大イニ此ノ時機ヲ失ハナイヤウニ御考慮ヲ拂ハレルコトヲ、切ニ希望シテ已マスノデアリマス、併シナガラ私ハ一面ニ恥心ノ上ニ於キマシテモ、規律訓練ノ上ニ於テ、斷ジテ國家ノ警察機關ヲ弱クシヨウナドト云フヤウナ考ハ毛頭持タヌノデアリマス、我ガ國ノ警察ハ、御承知ノ通リニ廉恥心ノ上ニ於キマシテモ、世界ニ冠タルモノガアルノデアリマス、唯國民ニ對シテ深切心ト云フコトガ、遺憾ナガラ頗ル缺ケテ居ル點ガ少クナインデアリマス、私ハ常ニ日本警察官ハ陛下ノ警察官アルト同時ニ、全國民ノ生命財產ノ保護者デアル、モット言葉ヲ換ヘレバ、國民ニ對シテ深切丁寧ニ警察行政ヲ行フト云フコトガ、即チ陛下ニ忠ナル所以デアル、忠君ト愛國ト云フモノハニシテ、而シテ斯クノ如キ國體ヲ有シテ居ル警察官ハ外ニ何處ニモナインデアル、此ノ意味ニ於テ、モットノコトガ、即チ陛下ニ忠ナルモノハ、國民ニ對シテ深切丁寧デナクテハナラヌト云フコトヲ力説シテ居ル者ノ一人デアリマス、斯クノ如キ見地カラ益々、警察官其ノモノヲ強化スルト同時ニ、一面ニ於テ

マスルカラ、ドウカ平沼内閣ニ於テ宜シク御考慮ノ程ヲ切望シテ已マヌノデアリマス、最後ニ第四ノ希望トシテ申上ゲタイコトハ、警察官ノ待遇及比教養問題デアリマス、今ヤ我ガ國ノ警察社會ハ出征者モナカ～多イノデアリマシテ、僅少ニ人員ヲ以テ只今大イニ警察官ハ奮闘シテ居ルト云フ實況デアリマス、一度ニ過ギル所ガアルノデアリマシテ、誠ニ我々國民ノ想像以上ノ實況ナンデアリマス、私ハ此ノ點ハ我々ハ國民ノ一人トシテモ、大イニ此ノ治安維持ノ第一線ニ對スル所ノ警察官ノ實情ニ付テハ、深ク～思ヒヲ致サネバナラヌト存ズルノデアリマス、本院ニ於キマシテハ、夙ニ柳原伯爵ハ、警察官待遇問題ニ付テ委員長トシテ御盡力ニナッタ経過モアルノデアリマスルガ、其ノ後政府ノ警察官ノ待遇ノ問題ニ對スル所ノ點ハ、遺憾ナガラ頗ル不完全ノ點ガアルノデアリマス、我ガ國ノ今日ノ實情ハ今更申上ゲル迄モゴザイマセスガ、警察ノ事項ハ益々増殖致シマシテ、殊ニ郡役所ノ廢止アル今日、保育行政ノ仕事モ澤山ヤリツ、アルト云フ實況デアリマス、ソレニ又御承知ノ如クニ經濟警察ノ如キ最モ警察官ニ不慣レノコト、是モ實ニ僅カノ人數デ以テ行ヒツ、アルノデアツテ、誠ニムツカシイ知識ヲ注入スルダケデモ容易ノコトデハナイノデアリマス、此ノ頃モ或都市ノ實況ヲ見聞シタノデアリマスルガ、巡查ハ只今申ズヤウニ人數ガ少クテ、サウシテ出征軍人ニ代ツテ今一所懸命ニヤツテ居ルノデアリマス、ソレニ軍需工業が盛ナノデ志願者ガナインノデアリマス、非常ニ素質ガ惡ク今ナリツ、アルト云フ實況ナンデアリマス、サウ云フ所ヘ今ヤリツ、アル、某警察署長ガ私ト懇意ナ爲ニ足リマセヌノデ、此ノ都市ハ御承知ノ通り事情ヲ漏シテ申シマスルニ、實ハアナタダカラ申上ゲマスルガ、何分ニモ巡查ノ數ガ足リマセヌノデ、此ノ都市ハ御承知ノ通り

駐在所ガアルノデアリマス、其ノ派出所ニ夜泊ルヤウニシテ人數ノ少イコトヲ償フ、之ガ爲ニ夜泊ツテ休ムコトノ出來ルヤウニ派出所ノ建築ヲ改造シタイト言フノデス、サウ云フコトヲ耳ニ致シタノデアリマス、又某警察署長ガ私ニ訴ヘテ申スノニ、我々ハ紀律訓練ヲ以テヤリ、又上官ハ非常ナ熱心ヲ以テ、今警察精神ハ緊張シテ居ルノデアル、今私ハヤリマスガ、アナタダカラ申上ゲルノダガ、此ノ儘ニ抛ッテ置キナサルト、將來如何ニ待遇ハ……或ハ武士道的ダ、武士道的グト仰シヤツテモ、トンデモナイコトニナックラ大變デアリマス、ゾトスウ云フコトヲ私ハ耳ニ致シマシテ、イヤ、ソレハ決シテ君ニ迷惑ヲ掛けナイ、何レ内務大臣ニモ能ク申上ゲルト云フコトデアツタノデアリマス、以上ハ唯一端デアリマス、サウ云フヤウナ實情デゴザイマスルノデ、又加フルニ只今申上ゲル通りニ經濟警察ヲ始メ、非常ニ色々警察知識ヲ要スル問題ト云フモノガ、驚キ入ッタ分量アルノデアリマス、茲ニ私ハ警察教育ノ問題ハ、外務大臣ニモ熱心ニ御希望申上ガタイノデアリマシタガ、支那派遣ノ日本警察官ニ對シテモ餘程能ク養成ナラナイト、上帝海租界ノ問題ナシモ解決ハ出來マセヌ、是ハ餘程教育問題ガ大事ナンデアリマス、外ハ勿論、又内ヲ治ヌルニモ、國內トシテ警察官ノ養成モ今更申上ゲル迄モナイノデアリマス、此ノ點ニ付テ平沼内閣ハ何卒警察官ノ待遇及ビ教養問題ニ付テハ、大イニ治安國策トシテ御留意ノ程ヲ切ニ希望致シマス、以上私ハ治安國策樹立問題ト題シマシテ、茲ニ第一ニ警察機構ノ再検討、第二ニ國民警察ノ振興問題ト同時ニ警察官ノ態度ノ革新、第三ニ警察ノ國費問題、第四ニ警察官ノ待遇問題ト教養問題、是等ノ問題ノコトヲ申上ケマシテ、是非トモ庶政一新ノ今日、之ガ實行ニ著手セラル、コトニ對シテ多大ノ希望ヲ申述べマシテ、此ノ豫算案

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第五、職員健康保険法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續 委員長報告、委員長大森男爵	〔異議ナシト呼フ者アリ〕
貴族院議長伯爵松平頼壽殿 佳一	メマズ

昭和十四年三月二十三日

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第五、職員健康保険法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續 委員長報告、委員長大森男爵

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
職員健康保険法案 告候也

〔副議長侯爵佐佐木行忠君議長席ニ著
ク〕

○男爵大森佳一君 御付託ニナリマシタ職員健康保険法案委員會ノ審議ヲ了シマシテ、茲ニ此ノ法案ノ可決ヲ見ルニ至リマシタコトヲ申上げ、其ノ始末ニ關シテ茲ニ御報告ヲ申上げタイト存ジマス、此ノ法案ハ新ラシキ社會保険制度ヲ創設セムトルモノデアリマシテ、社會立法トシテ重要ナル法案デアルコトハ申ス迄モアリマセヌ、サレバ委員會デモ格別熱心ニ慎重ニ審議フ盡シタク申シマスレバ、都市ニ勤メテ居ル下級給料生活者、商業使用人ト云ウタモノガ被保險者デゴザイマシテ、併シナガラソレハ範圍ガ限局セラレテ居ルノデアリマス、其ノ業態ノ上カラ申セバ、法案ニハ限定シテアリマスガ、物ノ販賣、金融、保險業、物ノ保管、賃貸業、媒介周旋、集金、案内業、廣告業ト云ウタヤウナ仕事ニ備ハレテ居ル者ト云フ一つノ制限ガアリマス、又其ノ業務ノ程度カラ申シマシテ、常二十人以上ヲ使用シテ居ル仕事ノ常備ノ使用人デアルコト、ソレカラ收入ノ點カラ申シテ、一箇月圓以下ノ月給ヲ取ル者、收入ガ一箇月百圓以下ノ者、斯ウ云フヤウナ制限ニ依ル範圍内ノ給料生活者又ハ使用人ハ被保險者トナル、其ノ數ハ凡ソ三十八萬人ト云フ

見込ト申サレテ居ルノデアリマス、保險者ノハ政府ト組合トデアリマシテ、組合ト申スノハ雇主ト其ノ使用人トデ組織スル所謂職員健康保険組合ト云フ組合デアリマス、保険ノ給付ハ療養費、是ハ被保險者本人ト其ノ家族ノ傷病ヲ治療スル費用ノ八割ニ當ル金デアリマシテ、之ヲ療養費トシテ給付スルノデアリマス、八割ノ外二割ハ自己負擔ニナルノケレバ是ヨリ採決ヲ致シマス、御異議ガナケレバ四案全部ヲ問題ニ供シマス、四案全部、豫算委員長ノ報告通リテ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマズ

馬スルシ、農山漁村ノ居住者乃至中小商工業者等ノ爲ニハ、昨年カラ國民健康保険法が實施サレテ居ルノデアリマス、然ルニ都市的地方ノ商業使用人乃至ハ給料生活者ノ方面ニハ、マダ此ノ種ノ保護制度ガ行ハレカラ、其ノ健康、體力ヲ侵サレルヤウナ結果ガアリマシテ、隨分悲慘ナ境遇ニ陥ルコトガ少クナインデアリマス、之ガ爲延イテハ國民生活上ニモ、産業能力ノ上ニモ、大ナル影響ヲ醸スノデアリマス、茲ニ於テ適當ナル社會保険制度ヲ此ノ方面ニ設クルコトガ、誠ニ必要デアルト云フコトガ考ヘラル、ノデアリマス、此ノ考ノ下ニ此ノ法案當ナル社會保険制度ヲ此ノ方面ニ設クルコトガ、誠ニ必要デアルト云フコトガ考ヘラル、ノデアリマス、此ノ考ノ下ニ此ノ法案了解セラルベキコトハ、我々ノ當ニリマス、ソコデ先づ此ノ法案ノ組立ノ骨子ヲ大略申上げバナラヌト思ヒマス

〔副議長侯爵佐佐木行忠君議長席ニ著
ク〕

此ノ保険ノ被保險者トシマシテハ、之ヲ平タク申シマスレバ、都市ニ勤メテ居ル下級給料生活者、商業使用人ト云ウタモノガ被保險者デゴザイマシテ、併シナガラソレハ範圍ガ限局セラレテ居ルノデアリマス、其ノ業態ノ上カラ申セバ、法案ニハ限定シテアリマスガ、物ノ販賣、金融、保險業、物ノ保管、賃貸業、媒介周旋、集金、案内業、廣告業ト云ウタヤウナ仕事ニ備ハレテ居ル者ト云フ一つノ制限ガアリマス、又其ノ業務ノ程度カラ申シマシテ、常二十人以上ヲ使用シテ居ル仕事ノ常備ノ使用人デアルコト、ソレカラ收入ノ點カラ申シテ、一箇月圓以下ノ月給ヲ取ル者、收入ガ一箇月百圓以下ノ者、斯ウ云フヤウナ制限ニ依ル範圍内ノ給料生活者又ハ使用人ハ被保險者トナル、其ノ數ハ凡ソ三十八萬人ト云フ

見込ルノニ、規模ガ甚ダ小サイ、唯僅カニ其ノ端緒ノミヲ見セタニ過ギナイヤウナモノガ多イ、而シテ何時モ財政ノ都合デ已ム足シナイ偶我々ノ前ニ示サレタル諸施設ヲ見ルノニ、規模ガ甚ダ小サイ、唯僅カニネバイケナイ、此ノ點ニ於テ我々ハ未だ満足シナイ偶我々ノ前ニ示サレタル諸施設ヲ得ナイト申サレテ居ルノデアル、事ハ實ニ將來國民ノ勃興ヲ促スベキ所ノ重大ナル問題デアル、厚生省ガモット熱烈ナ意氣ニ燃ニテ勇往邁進シタラバ、ソシナコトハナ

イ苦デアル、須ク財政當局トモ意氣ヲ相投

ヲ實現スルヤウニサレタイモノデアルト云
フ意味ノ意見ガ、屢々唱へラレタノデアリマ
ス、又或ハ厚生省ガ新設サレテカラ、其ノ
施設計畫ニ骨ヲ折ツテ居ルコトハ分ルガ、動
モスルト國民ノ日常生活ニ於ケル環境ニ關
シテ、防疫、保健ノコトガ案外閑却サレテ
居ル憾ガアル、殊ニ又衛生法規ヲ行政手段
ニ移シテ、之ヲ勵行徹底セシムルヤウナ努
力ガ足ラチイ憾ガ少クナイ、是ガ國民體力
ヲ知ラズ識ラズノ間ニ蝕バシニ居ル實情ガ
見エルノデアル、此ノ邊ノコトニモ宜シク
留意スペキコトデアルト云フ意味ノ意見若
シクハ質問ガ述ベラレテアルノデアリマス、
右様ノ多數委員ノ批判若シクハ質問ニ對シ
テ、厚生大臣ハソレノ其ノ方針施設ニ關
スル意圖ヲ披瀝セラレルト共ニ、國民體力
向上ノ根本施設ニ付テ、左ノ如キ答辯ヲ試
ミラレテ居ルノデアリマス、國民體力向上
ノ爲ニハ諸種ノ施設ヲ効カシ、其ノ徹底ヲ
期スルコトガ肝要デアルガ、總國民ノ體力
ヲ個別的ニ審サニ知リ、個々ニ適切ナル指
導ト處置トヲ與ヘルコトガ根本的ニ必要ダ
ト思フ、之ガ爲自分ハ所謂國民體力管理制
度ヲ完成スルコトガ根本策デアルト確信ス
ル、即チ個人的ニ又地方的ニ、而シテ國家
的ニ三者相策應セシメテ、體力管理ノ實效
ヲ擧グベキデアル、既ニ其ノ準備調査ニハ
著手シテ居ルガ、近ク之ヲ制度化シタイト
云フコトニ折角骨ヲ折ツテ居ルト云フ大體
ノ答辯ガゴザイマシタ、次ニ、社會保險制度
其ノモノニ關スル問題デアリマスガ、今ヤ
各種ノ社會保險ガ聯立スルコトニナルノデ
アル、之ヲ一立法ニ統合セシムルノ目論見
ハナイカト云フ質問ガアリマシタ、厚生大
臣ハ健康保險法ハ實施既ニ十餘年ノ星霜ヲ
経テ相當ノ進歩ヲ見テ居ル、是ト新シキ國
民保險法及ビ今日創設セラレムトスル職員
並ニ船員等ノ法制ト、統合合流セシメヨウ
トシテモ結局跛行ノ狀態ニナッテ無理ダト

思フ、而モ被保險者ノ業態ハ各異ナリ、罹病率ヲ異ニスル、其ノ他ノ實情ハソレノ
捕ハナイノデ、今遽ニ之ヲ同一ノ法ニ纏メルト云フコトハ困難デアル、強ヒテ纏ヌル
モ各別編ニシナケレバナラナイノデアル、
今日之ヲ統合スル時期デハナイト思フト云
フ御答デアリマシタ、又此ノ種社會保險ノ
發達ト共ニ、民營ノ生命保險事業ヲ壓迫ス
ルヤウナコトハナイカ、或ハ又生命保險ヲ
國營トスルヤウナ考ハナイカト云フ質問ニ
對シテ、厚生大臣ハ、兩者ハ勿論目的ヲ異
ニシテ居ルカラ抵觸シナイモノト考ヘル、
殊ニ收入百圓程度以下ノ階級ヲ職員保險ハ
獨ツテ居ルノデアルカラ、撞著スルコト
ハナイト思フ、サウシテ生命保險ノ國營
問題ハ、今日ハ何等考ヘテ居ラナイト云フ
答辯デアリマシタ、次ニ、醫師ト社會保險
ニ關スル問題デアリマス、社會保險ト醫師
ノ制度トニハ密接ナ關係ガアルガ、今日ノ
開業醫制度ニ對シテハ政府ハ如何ナル考ヲ
持ツカ、將又醫療ヲ國營トスルヤウナ考ガ
アルカ等ノ質問ニ對シマシテ、厚生大臣ハ、
現在ノ醫師制度ハ矢張リ存置スペキモノト
思フガ、此ノ儘デ宜シイトハ思ハナイ、改
善ノ餘地ト必要ガ多分ニアラウ、殊ニ醫療
ニ關シテハ、公ノ性質ヲ之ニモット含マセ
テ、之ヲ強化スル必要ガアルト存ジマス、
尤モソコニ急激ナ變化ヲ與フルコトハ勿論
避ケナケレバナラナイト思フ、是等ノ方法
ニ付テハ、醫藥制度調査會ノ研究ニ俟シテ、
熱慮ヲ遂ガタイト思フト云フ答辯デアリマ
シタ、更ニ保險ノ醫療給付ニ付テ、診療ノ
方法ト藥品等ガ漸次進歩シテモ來ルシ、益
價ハ高クナルト云フコトニ連レテ、治療費
ガ高マリ、經濟上相當醫者ノ困難ヲ加ヘテ
來ルガ、保險ノ給付費用ノ方にハ制限ガア
ル、之ニ處スルニハ面倒ナ手續ガ要ル、之
ガ爲メ醫者ノ診療ノ粗雜ヲ招キ、診療方法
ノ不統一ヲモ來シ易イ、是等ハ社會保險ノ
大ナル弊因……弊害ノ原因ダト思フガ如何

ニ考ヘルカト云フ質問ニ對シマシテ、厚生大臣ハ、大體醫師ノ醫療上ノ經營ニハ今日甚ダ不合理ノ點ガアツテ、之ニ關シテ國家トモニ考ヘタイ思ツテ、此ノ點ニ付テハ醫藥制度調査會モ考究ヲシテ居ル、又診療ノ粗雜ヲ招カナルトヤウニ、給付ノ增加ハ今後モ考ヘタイト思ツテ居ル、而シテ醫療ノ不統一ヲ來サナイヤウニ、診療計畫ヲ定メ、診療方針ヲ示シテ統一ヲ圖シテ居ル次第アルト云フ答辯デアルガ、差リマシタ、次ニ、此ノ法案ノ規模ニ關スル問題ニ付テデアリマス、此ノ職員健康保険法案ハ、其ノ看板ハ頗爾立派デアルガ、當リ實施セムトスル所ノ規模ニ至シテハ案外小規模ニ失シテ居ル、適用者ノ範圍ニシテモ、金額ノ程度ニシテモ、餘リニ貧弱デハナイカ、當初厚生省デ調査會ノ審議ニ掛ケレテ出来上ツタ計畫案ヲ去ルコト甚ダ遠ク、月ト鼈ノ感ガアルト思フ、即チ例ヘバ適用事業二十八種ト云フコトデアツタガ、此ノ案ニ於テハ僅カニ五種、五ツノ種類トセラレテ居ル、從ツテ被保險者七十六萬人ノ見込デアツタノガ此ノ案デハ僅カニ三十八萬人ト云フコトニナツテ居ル、適用事業ノ使用人ノ數五十人以上トシテ居ツタノヲ、十人以上シテ居ル、醫療費ノ支給期間ガ一年デアツタノヲ半年ト縮メテ居ル、傷病手當、出產手當、當ノ額ハ百分ノ六十デアツタノヲ百分ノ五十二減ラシテ居ル、國庫ノ負擔一年百分九十九萬圓ノ計畫ヲ、五十萬圓ニ減額シタヤウナ始末デアル、掲ゲタ看板ハ立派ダガ、内容ハ斯クノ如ク心細イコトデ、甚ダ遺憾デアル、此ノ事ハ恐らく各委員ガ通ジテノ觀察デアルト察セラレマス、故ニ是等ノ事項ニ關スル質疑ハ、多數ノ委員カラ多數ノ發言モノデアル、財政上許サナイト云フナラバ、一年ヤニ年ヲ延バシテモ宜イデハナイカト

云フヤウナ、批評ノ御話モ出タ位デアリス、
政府ハ是等ノ意向ニ對シマシテ、曰ク、適用
範圍トシテモ給料生活者ノ重要ナル部分ヲ
擱ヘテ居ル、而モ漸次勅令ニ依ッテ收容範
ガリノ形ヲ取ツテアルカラ、勿論現狀ヲ満足
トハ思ハナイガ、財政事情ヲ顧ルト共ニ、
社會立法トシテ漸進主義ヲ以テ急激ノ轉
回ヲ避ケテ、其ノ間一般國民ノ憤熱ヲモ末擴
促シテ、將來ノ大器晚成ヲ期スル積リデア
ルト云フ釋明ヲスルコトニ努メテ居ルノデ
アリマス、尙下級官公吏、學校教員等ヲ本
案ニ除外シテ居ルノハ甚ダ遺憾デアル、殊
質問ニ對シマシテ、政府ハ是等ノモノニ及シ
タイ考デハアルガ、其ノ建前ヲ共濟制度トス
ルカ、保險制度トスルカ、將來ノ懸案トシ
テ更ニ考慮ヲシテ行ク積リデアルト云フ答
辯デアリマシタ、以上ハ質問應答ニ依ル論
議ノ狀況ヲ略述シタノデアリマスルガ、討
議ニ於キマシテ左ノ如キ意見ノ開陳ガアツ
タノデアリマス、即チ政府が此ノ立案計畫
ニ於テ、特ニ漸進的ナル意思ヲ含マセタコ
トハ自分ハ之ヲ諒トスルガ、實施運用ニ當
テハ十分ノ努力ヲ要望スル、而モ國民體力
ノ問題ハ、健康ヲ害セラレタル後ニ其ノ處
置ヲ講ズルハ實ハ第二義デアツテ、其ノ禍ヲ
未然ニ防イデ、體位向上ノ一路ニ邁進スル
コトガ第一義デアルトセネバナラナイ、是
ニハ原因ノ探究ヲ緻密ニスルコトガ根本ノ
對策デアルト思フ、政府ノ善處ヲ望ムト共
ニ、原案ニ對シテ贊成ヲ表スル、更ニ他ノ
委員カラハ自分ハ此ノ法案ヲ檢討シタ結果
多クノ不満足ヲ持ッテ居ル、試ミニ主ナルモ
ノヲ擧ゲテ見レバ、被保險者ノ範圍ニ關シ、
原案ハ十人以上トシテ居ルガ、實ハ三人ト

ニ於テコソ、却テ保護ノ必要ガ多イト思フ
ト、又官公吏雇員、學校教員ガ此ノ保護
カラ外サレテ居ルケレドモ、政府モ之ヲ必
要ト認メテ居ルノデアルカラ、速カニ其ノ
施設ノ實現ヲ望ム次第デアル、又療養給付
ノ期間ヲ、結核性病患ニ對シテハ一年トシ
テ居ルガ、此ノ種ノ病患ニ對シテハ一年デ
モ無理デアラウト思フ、宜シク今後之ニ付
テハ考慮スベキデアル、以上ハ政府ニ對シ
テ是非善處ヲ要望スルノデアルガ、自分ハ
原案ニ對シテハ贊意ヲ表スル、蓋シ此ノ法
案ノ不成立トナラムコトヲ惧レルガ故デア
ル、斯ウ云フ意見デアリマシタ、採決ノ結
果全員異議ナク、原案ヲ可決スルコトニ決
定ヲ致シタ次第ゴザイマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御發言モナ
ケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二
讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ
ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 本案ノ第二
讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ
問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告
通リデ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ
ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵
ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 本案ノ第三
讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決
議通リデ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第六、
司法保護事業法案、政府提出、衆議院送付、
第一讀會ノ續、委員長報告二荒伯爵

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 委員長
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

昭和十四年三月二十三日

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

(伯爵二荒芳徳君演壇ニ登ル)

○伯爵二荒芳徳君 司法保護事業法案ノ特
別委員會ノ經過並結果ヲ御報告致シマス、
本法律案ハ十三條構成ケラレマシタ法律
案デアリマシテ、最近事變下ニ於テ殊ニ再
犯ノ増加ガ見ラレマスノデ、之ニ對シマシ
テ民間ノ司法保護事業經營者ニ對シテハ、
指導監督竝ニ助成ヲ致シマスト同時ニ、別
ニ司法保護委員ノ制度ヲ設ケマシテ、再犯
ヲ防遏シヨウト云フノガ此ノ精神デゴザイ
マス、本委員會ハ二十日ト二十三日ノ兩日
ニ亘リマシテ、政府ノ提案ノ理由、質疑應
答ヲ致シマシタ、政府ノ説明ニ依リマスレ
バ、此ノ再犯ノ危險ヲ防止スル爲ニ、一面
十全ノ策ヲ講ズルト同時ニ、益民心ノ本
分ノ恪守ヲ致サシメ、品性陶冶ノ適當ナ補
分ヲシヨウト云フ説明デゴザイマシタ、尙

現在ノ制度ト致シマシテハ、國家ノ監督ス
ル所ノ保護觀察所、是ハ思想犯ニ對シテ保
護指導致シマスモノデ全國ニ設置サレテ居
リマス、是ハ相當ノ成績ヲ收メテ居ル、又
少年犯罪ニ付キマシテハ、少年審判所竝ニ
少年院等ガゴザイマスガ、是ハ誠ニ其ノ設
備モ未ダ全國的ニナツテ居リマセヌノデ、十
分ノ成績ヲ擧ゲテ居ラナイト云フ御話デア
ト云フコトハ、實ニ現下ノ急務デアル、其
ノ意味ニ於キマシテ本保護事業法ナルモノ
ハ、先ヅ差當リノ方法トシテハ、此ノ程度
ヲ以テ或效果ヲ擧グルコトガ出來ルト云フ
説明デゴザイマシタ、質問ニ入リマシテ問
題ニナリマシタノハ、本法案ノ第六條ニ、
此ノ事業ノ經營者ハ内務大臣又ハ地方長官
ノ許可ヲ受ケマシテ、經營ノ資金ヲ寄附金
ニ求ムルコトガ出來ルコトニナツテ居ルノ
デアリマス、此ノ問題ハ「一人ナラザル委員、
即チ二三人ノ委員カラ特ニ次ノヤウナ質問ガ
ゴザイマシタ、ソレハ斯ウ云フ國家的ノ事
業ハ寄附金ヲ以テ爲スヨリハ、國家自身ガ
十分力ヲ入レテヤルベキモノデハナイカ、
又寄附金トハ云フモノノ強制ノ結果ヲ生ズ
ルデハナイカ、實ニ是ハ怖ロシイコトデアッ
テ、殊ニ最近ニ於テハ此ノ寄附金ハ益一般
ニ要求サレテ居ル時代デアル、殊ニ寄附金
ノ使途ニ至ツテハ最モ慎重ヲ要スル、先日モ
本會議ニ於テ議員ノ質問ニ依ツテモ、或團體
ノ寄附金ガ其ノ使途明瞭ヲ缺クト云フ質問
トガアツタナラバ、此ノ重大ナル法案ニ暗影
サヘアツクナデアルガ、若シモ此ノ寄附金ノ
收支決算ニシテ明カニナツテ居ナイヤウナ
コトガアリ、又寄附金ヲ濫費スルヤウナコ
トガアツタナラバ、此ノ重大ナル法案ニ暗影
ヲ投ズルモノデアル、斯ウ云フ質問ガゴザ
イマシタ、政府當局ハ之ニ對シマシテ、本
來國家事業デアルベキモノデアルガ、今ソ
コ迄ニ進ムコトガ出來ナイコトヲ遺憾トス

ル、又寄附金ノ強制ヲ求メルト云フヤウナコトニ對シテハ十分、謙虛ノ誠實サヲ以テ之ニ臨マナケレバナラナイト思フノデ、十分注意ヲスルト云フ御話ガゴザイマシタ、收支決算ニ付テモ亦其ノ監督ヲ嚴ニシテ、審ロ此ノ法律案ハサウ云フ點ニ於テ、條項ノ上ニモ之ヲ示シテ居ルト云フ説明デアリマシタ、又他ノ委員カラ、現在ノ此ノ事業團體ハ一千二百三十程アッテ、千二百萬圓以上ノ經費ヲ使シテ居ルノデアルガ、今後は等ノ團體が此ノ法律ニ依シテ澤山殖エテ來ルヨトハナイカト云フ質問ガゴザイマシタノニ、當局ト致シマシテハ、現在存立シテ居ルモノヲ先づ目安トシテ考ヘテ居ルト云フシナケレバナラヌト思ハレルガ、如何デア说明デゴザイマシタ、又認可權ノ標準ハドウデアルカ、即チ人のノ方面、資產のノ方面、共ニ留意シテ、斯ウ云フ事業ハ許可ヲルモノヲ先づ目安トシテ考ヘテ居ルト云フルカト云フコトニ付マシテ、政府當局ハ、是等ノ許可ニ關シマシテハ、從來無資產者ヲ許シタ例ハナイガ、今後ニ於テモサウ云フモノハ許ス者ガナイト云フコトデゴザイマシタ、又或委員カラノ、既存團體ノ中ニモ其ノ成績ノ好クナイモノガアレバ、整理ヲ爲ス必要ハナイノデアルカト云フ質問ニ對シマシテモ、政府ハ、尤モデアルカラ能ク研究ヲスルト云フコトデゴザイマシタ、又此ノ法律ノ中ニ司法保護委員ナルモノガ出來テ居リマスガ、其ノ保護委員ニドウ云フ人々ナルカ、學校教員、又ハ婦人モ必要デアルカ、又在郷軍人等モ必要デハナイカト云フ質問ガゴザイマシタニ對シマシテ、政府ハ、ソレ等ノ人々モ亦適任者デアル限リハ十分ニ起用ヲシタトイ云フ説明デゴザイマシタ、更ニ又他ノ委員カラハ、思想犯ノ改善ノ状態ハドウデアルカト云フ質問ガゴザイマシタノニ對シマシテ、政府ハ、此ノ方面ニ於キマシテハ此ノ事變下ニ於テ、從來ノ共産主義系ノ思想犯人ト云フモノハ、大多數ガ祖國ノ愛ニ目覺メテ轉向ヲシタト云フ説明

シタコトハ、皇太子殿下ノ御誕生遊バ
サレマシタ時ニ、或地方ノ刑務所ノ思想
犯人ハ、皆涙ヲ流シテ御誕生ヲ慶ビ合タ
ト云フ説明ヲ聽キマシタ譯アリマス、
斯クノ如キ色々ノ質問ノ後ニ討論ニ入
リマシテ、或委員カラハ、本員ニ賛成
スルガ、此ノ二三ノコトニ付テ注意ヲ
シテ貰ヒタイト云フ御話ノ下ニ、少年ノ犯人
人ハ、是ハ善導スルコト尙容易デアル、思
想犯人モ其ノ考ノ見當ガ違テ居ルノダカ
ラ尙之ヲ導キ易イガ、一般犯人ニ至テハ
實ニ難事業中ノ難事業デアル、重大ナ犯人
ニ對シテハ、一面ニ責任感ヲ明カニスル、
即チ何ガ故ニ斯クノ如キ犯罪ヲ犯シ、サウ
シテ社會ニ對スル責任感ハドウ云フモノデ
アルカト云フコトヲ明カニ知ラシメル爲ニ
ハ、峻嚴ナルコト恰モ嚴父ノ如キ態度ヲ以
テ臨ムベキデアル、又其ノ犯罪者ト云フモ
ノヲ保護スル意味ニ於テハ、慈愛溢レル慈
母ノヤウナ態度ヲ以テ臨マナケレバナラナ
イ、即チ一面ニ責任ヲ明カニスルト云フコ
トト、他面ニ保護ト云フコトハ、相反ス
ルヤニ見ラレルガ、此ノ點ノ十分調和ヲ
願ヒタイ、殊ニ司法保護委員ノ待遇ヲ好ク
シテ、此ノ難事業ヲ完成スルヤウニ努力セ
シメラレタイ云フ意味デゴザイマシタ、
他ノ委員ハ又贊成ノ意ヲ述べラマシテ、
茲ニ二ツノ遺憾ナ點ガアル、一面ハ資金ノ
不足デアル、之ヲ寄附金ニ俟ツト云フコト
ガ、今日ノ時勢最モ世間ハ憐マサレルノデ
アル、誠ニ畏イコトデアルガ、時ニハ皇室
ノ御事業或ハ皇室ノ御聖德等ヲ利用シテ、寄
附金ヲ求メル者モ亦今日決シテ少クナイ、
更ニ茲ニ司法ト云フ背景ヲ以テ此ノ寄附金
者ガ今日尙少クナイコトハ實ニ畏イコトデ
アル、又軍部ノ關係アルガ如ク致シテ、寄
附金ヲ求メル者モ亦今日決シテ少クナイ、
更ニ茲ニ司法ト云フ背景ヲ以テ此ノ寄附金
ヲ求メル時ニ、司法トカ軍部トカ云フコト
ヲ背景ガ、當然ニ寄附者ニ二ツノ迫力ヲ加

ヘルモノデハナイケレドモ、多クノ者ハ知
識ノ深クナイ爲ニ、何トナク一ツノ脅威ヲ
感ジナガラ寄附金ニ應ズルト云フヤウナコ
トガアルナラバ、實ニ是ハ怖ロシイコトデ
アル、然ルガ故ニ十分財産ヲ有スル者ヲ以
テ此ノ事業ヲ行ハシメテ、寄附金要請ヨリ
生ズル所ノ不愉快ナル、喜バシクナイ結果
ヲ生ゼシメナイヤウニシテ戴キタイト云フ
コトガ一ツデアル、更ニ今一ツ殘念ニ思フ
ノハ、從來ノ事業家ノ中ニモ整理ヲスル者

通リテ御異議ハゴザイマセヌカ
 「〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ」

○副議長侯爵佐佐木行忠君 御異議ナイ
 ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀
 會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○副議長侯爵佐佐木行忠君 西大路子爵
 ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

ヘルモノデハナイケレドモ、多クノ者ハ知識ノ深クナイ爲ニ、何トナク一ツノ脅威ヲ感ジナガラ寄附金ニ應ズルト云フヤウナコトガアルナラバ、實ニ是ハ怖ロシイコトデアル、然ルガ故ニ十分財産ヲ有スル者ヲ以テ此ノ事業ヲ行ハシメテ、寄附金要請ヨリ生ズル所ノ不愉快ナル、喜バシクナイ結果ヲ生ゼシメナイヤウニシテ戴キタイト云フコトガ一ツデアル、更ニ今一ツ殘念ニ思フノハ、從來ノ事業家ノ中ニモ整理ヲスル者モアルカラ、一定ノ期間ヲ定メテ、サウシテ事業ノ再認可ヲ申請スルヤウニ規定シテアツナラバ、自然ニ斯クノ如キ事業家ノ整理モ出來タノデアラウト思ハレル、併シ其ノ規定モナイノデアルカラ、此ノ今許サレテ居ル事業家ニ對シテハ十分短期間中ニ於テ整理ヲシ、惡シキモノハ淘汰ヲシテ、萬全ヲ期セラレムコトヲ望ムト云フ意味ノ意見ノ發表ガアリマシタ、之ヲ以チマシテ討論ヲ終結致シ採決ニ入リマシテ、全會一致ヲ以チマシテ此ノ法案ハ可決致スモノト確定致シタノデアリマス、報告ヲ終リマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○子爵村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 御異議ナイ
ト認メアス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 御異議ナイ
ト認メアス

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 御異議ナイ
ト認メアス

○副議長（侯爵佐佐木行忠君） 日程第七、船員保險法案 政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長大森男爵

昭和十四年三月二十三日

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

委員長 男爵大森 佳一

船員保險法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

（男爵大森佳一君演壇ニ登ル）

○男爵大森佳一君 船員保險法案、此ノ法案ハ先程可決確定ニ相成リマシタ職員健康保險法ト共ニ、新ラシイ方面ニ社會保險制度ヲ創設セムトスル所ノ重要法案デアリマスルコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、工業労務者ノ爲ニハ健康保險法ガアリマス、農村地方ニ對シマシテハ國民健康保險法ガアリマスガ、都市的方面ノ商業使用人方面ニハ先程御決議ノ職員健康保險法ガ行ハレルコトニナルノデアリマスルガ、海上、海ノ上ノ勞務者タル船員方面ニ對シマシテハ、此

ノ種ノ保護制度ガ存シテ居ラナイノデアリ
マス、船員ノ海上ニ於キマスル勞務ノ生活
ニ付テ見マスルニ、其ノ精神上ノ苦痛、經
濟上ノ不利益ハ申スニ及バズ、其ノ退職後
ノ生活ニ關スル懸念等、陸上勤務者ニハ見
ラレナイ所ノ特殊ニシテ深刻ナル不安不利
ガアルノデアリマス、爲ニ動モスルト陸
上ニ職業ヲ移サムトスル所ノ傾キラ生ズル
等、之ガ爲延イテハ、今後我國ニ益、重要
ヲ加ヘムトスル彼ノ海運業ノ發展ヲ阻害ス
ル素因ヲ作リマシテ、國運、國力ノ上ニ
將又國防、軍事ノ上ニモ、遺憾ナル結果ヲ
招クコトハ少クナニ次第デアリマス、茲ニ
於キマシテ此ノ種船員方面ニ對シ適當ナル
社會保險制度ヲ創設スルコトハ、誠ニ必要
デアルト云フ考ノ下ニ、此ノ法案ガ茲ニ現
ル、ニ至ツタノデアリマス、少シク法案ノ組
立ノ内容ヲ略述致シタイト思ヒマス、此ノ
法ノ被保險者トナル者ハ、平タク申セバ日
本船舶ノ日本人タル船員デアリマス、是ニ
ハ制限ガアリマシテ、即チ官吏又漁船員等
ハ之ニ入リマセヌ、被保險者ノ頭數ハ先づ
差當リ十萬餘人ト見テ居リマス、此ノ保険
ノ給付ト致シマシテハ、第一ニ療養ノ給付
竝ニ傷病手當金、是等ハ給料千八百圓以下
ノ船員ニ限ラレテ居ルノデアリマス、第二ニ
ニ養老年金、是ハ此ノ法ノ被保險者タルコ
ト十五年以上ノ經歷ト、五十歳ヲ超エタル
コトヲ要件トシマシテ養老年金ガ與ヘラレ
ルノデアリマス、其ノ他癱瘓年金又ハ癱瘓
手當金、脱退手當金、死亡手當金等ノ種類
ノ給付ガゴザイマス、ソレカラ保険料ハ船
員ノ報酬月給額ニ保険料率百分ノハラ乗ジ
タルモノデアリマシテ、是ハ船主ト船員ト
兩方デ折半致シマスノデアリマス、即チ百
分ノ四、四分ヅ、保険料トシテ負擔スルノ
デアリマス、國庫ハ年金手當金ノ給付總額
ノ五分ノ一ト事務費トヲ負擔スルコトニ相
成ツテ居リマス、法案ノ實施期ハ昭和十五年
度カラト云フコトニナツテ居リマス、以上方

本案ノ組立ノ大略デアリマス、委員會ニ於キマスル様子ヲ申上ガマスルト、質問其ノ他ノ論議中ニハ、屢々海上勤務ノ苦痛其ノ他船員生活ノ特殊性ニ對スル世人ノ認識同情ト甚ダ薄イ傾キニアッタコトハ察セラル、ノデアルガ、漸ク今日此ノ法案ノ如キ保護施設ノ發案セラレタルコトハ、誠ニ喜ブベキコトデアルト共ニ、寧ロ其ノ甚ダ遲カツタコトノ憾ガアルト云フ感想ヲ述ベテ、サウシテ優秀ナル船員ヲ長ク安心シテ勤續セシムルハ、我ガ海運業ノ發展ヲ期スル所以ノ途デアル、之ガ爲ニ本案ガ年金制ニ重點ヲ置イタコトハ一ツノ著眼デアル、一進歩デアルト云フ批評モ出マシテ、或ハ又國庫ノ負擔五分ノートサレテ居ルガ、此ノ制度ノ重要性ニ鑑ミテ、將來ハ寧ロ之ヲ三分ノ一ニ増シ、船員、船主ノ負擔ヲモット輕減シテハ如何デアルカト云フ質問モ出タノデアリマス、或ハ又此ノ法案ニ於テハ船員ノ家族ヲ除外シテ居ラナイノニモ拘ラズ、船員ニ之ヲ認メテ居ラスト云フガ如キコトハ如何受クル彼等ノ精神的打撃ニモ誠ニ同情スベキモノガアル、職員保険等ニ於テハ、家庭ヲ除外シテ居ラナイノニモ拘ラズ、船員ニ之ヲ認メテ居ラスト云フガ如キコトハ如何ナル譯デアルカト云フ質問モアリマシタ、要スルニ殆ド全部ノ委員ガ、斯クノ如ク船員生活ノ特殊性ト船員保護ノ重要性トヲ強調セラレマシタコトハ、注目スペキコトト存ジマス、大臣ハ之ニ對シテ答辯サレテ居リマス、全ク御尤ナ御觀察デアル、年金制ニ重キヲ置イタ所以モ、實ニ船員生活ノ同情スペキ特殊性ニ鑑ミタ次第デアル、國庫ノ負擔ニ付テハ、當初調査會ノ案トシテハ三分ノ一デアッタガ、財政ノ關係モアリ、且又船主ノ負擔ハ之ヲ許スベシト云フコトヲ考ヘテ、之ヲ五分ノ一トシタ次第デアル、國庫ノ負擔ヲ増嵩スル虞ガアルカラ見合セタノ

同ジク海上ノ勤勞者デアル所ノ漁船員、漁撈組員等ニ付テハ、其ノ乗船ノ期間並ニ其ノ經濟事情等カラ考ヘテ、本法ノ適用ヲ外シテ居ルコトハ已ム得ナイトイシテモ、他ニ是等ニ對シテ適當な保護施設ヲ加フルコトハ極ヌテ必要ナコトダト思フガ、ドウデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ、是ハ今後關係ノ當局向ト十分ナ協議ヲ遂ゲテ、別途ニ適切ナル、即チ漁船員、漁撈組員等ニ對スル適切ナル所ノ保護施設ヲ、成ルベク早日時期ニ實現シタイト考ヘテ居ルト云フ言明ヲ致サレテ居ルノデアリマス、更ニ問題トナリマシタノハ、養老年金ノ支給ニ關シマシテ、勤續十五年以上ト云フ年限ト、支給開始年齢ヲ五十歳ト定メラレタ問題デゴザイマス、十五年以上、五十歳トシタ理由ハ如何デアルカ、之ヲ引上げ、或ハ反對ニ引下ゲテハドウデアルカト云フ、程度問題ノ得失問題ニ關スル論議デアリマス、之ニ付キマシテハ、船員生活ノ特殊性、現在船主、船員間ニ協定セラレテアリマスル船員ノ停年制、特殊性ト停年制、並ニ保険經濟ニ及ス影響等ニ、深甚ナル考慮ヲ加ヘタ結果、十五年、五十歳制度ガ、今日ハ最適度デアルト云フコトニ決定シタト云フ説明ヲ聽取タクノデアリマス、更ニ又船舶ノ運航ハ、本法施行地域外、即チ外地、海外ニ瓦ルコトガ多イ關係カラ、船員ガ海外、外地ニ於テ保険給付ヲ受クル便宜ヲ缺クヤウナコトガ屢々起リハシナイカト云フ質問ニ對シテハ、政府ハ、外地ニハ勿論支那大陸ノ主要地ニモ此ノ本法施行並ニ給付ノ機関施設ヲ設ケテ、遺憾ナキヲ期スル積リデアルト云フコトヲ説明シテ居リマス、以上ハ質問應答ノ概要デアリマスル、討論ニ入りマシテ次ノ意見ガゴザイマシタ、船員ガ貿易ニ、資源ノ開發ニ、將又國防ニ努力サレテ居ルコトハ察スルニ餘リガアル、殊ニ此

ノ事變ニ際シテ船員ガ軍ノ輸送ニ、敵前ト
陸ニ、其ノ他少カラヌ犠牲ヲモ出シテ勵勵
タト云フ、或ハ漁船員ガ中南支ノ作戦ニ協
力シテ涙グマシイ活躍ヲシテ居ル等ノコト
モ、全國民ノ感謝ノデアルノデアル、又
此ノ法制ノ立案ニ政府當局ガ努力シタコト
ニ對シテハ、之ヲ多トスル次第デアル、固
ヨリ最初カラ完璧ヲ求ムルコトモ無理デハ
アラウガ、我々審議ヲ盡シタ者トシテハ又
相應ノ要望ガアル、

〔議長伯爵松平頼壽君議長席ニ著ク〕

其ノ一ハ、漁船員、漁撈員ニ對シテハ、其
ノ特殊性ヲ慮リ別途ニ適切ナル保護施設ヲ
設クベキデアル、是ハ能ク研究シタ上デ次
ノ議會ニ提案サレタモノデアル、第二ニ、
養老年金開始ノ年齢ヲ五十歳トシタノハ、
若過ギヤシナイカ、年金ヲ貰ヘバ直グニ罷
メテ、走ツテ行クヤウナコトニナリヤシナイ
カト云フコトハ杞憂デハナカラウカ、ノミ
ナラズ早老ノ弊ニ導クコトニナラヌノデハ
ナカラウカ、此ノ邊ハ政府ガ今後ノ狀況ヲ
見テ、必要アリトスレバ其ノ年齢ノは正ヲ
速カニ怠ラナイヤウニサレタイモノデアル、
第三ニ、船員生活ノ特殊性ハ深ク察スペキ
デアル、其ノ保護ハ完全ニシナケレバナラナイ、然
ルニ原案ノ内容ハ餘リニ貧弱ダト思フ、此ノ
點當局ノ熟意ガ足リナインガアル、成ル程國費
多端デハアル、併シ事ハ國防ト海運ノ重大事デ
ハナイカ、殊ニ長期給付ニ對スル國庫負擔五
分ノ一ノ如キハ餘リニ少額デハナイカ、而モ
其ノ現實ノ負擔ハ相當先キノ將來ノコトデアル
アル、問題ノ重要性ヲ考ヘテ、將來三分ノ
一以上ニ増額シテ以チ給付ノ内容ヲ充實ス
ルノ舉ニ出デテコソ然ルベキコトダト思フ、
政府ハ篤ト此ノ點ニ付テ善處サレムコトヲ
望ムノデアル、併シ今是ガ不成立ノ結果ヲ招クコ
トハ自分ノ本意デナイ、原案ニ對シテハ茲
ニ贊成ノ意ヲ表スル、更ニ他ノ委員ヨリハ、

自分ハ此ノ法案ノ出現ノ寧々遲カリシユト
ヲ憾トル位デアル、政府ノ遺漏ナキ運用
ニ依テ、我が海運業上ニ一層ノ貢献ヲ爲ス
ベキヤウ努力セラレムコトヲ望シデ、本案
ニ贊意ヲ表スル次第デアルト云フ意見ヲ表
セラレマシタ、全員異議者ナク可決スベキ
モノト決定致サレタノデアリマス、御報告
終リ

○議長（伯爵松平頼壽君）別ニ御發言ガナ
ケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀
會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
モノト決定致サレタノデアリマス、御報告
終リ

○議長（伯爵松平頼壽君）御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長（伯爵松平頼壽君）西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（伯爵松平頼壽君）御異議ナイト認
メマス

○議長（伯爵松平頼壽君）御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長（伯爵松平頼壽君）西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（伯爵松平頼壽君）御異議ナイト認
メマス

○議長（伯爵松平頼壽君）御異議ナイト認
メマス

活動ノ範圍内ニ入ッテ居ナイト云フコトデアリマス、廣東ニ付テモ亦同様デ、此ノ會社ノ活動ノ範圍内ニ入ッテ居ナイノデアリマズ、次ニ經濟的活動ニ付テ申シマスト、北支ニ於テハ天然資源ヲ開發スルコトヲ主眼トシテ居リマスケレドモ、此ノ中支ニ於テハ是ト異ナリマシテ、戰爭ノ結果破壊サレタ所ガ誠ニ甚ダシイノデアリマス、ソレガ爲ニ先づ第一ニ復興シナケレバナラナイノデアリマス、ソレデ此ノ會社モ復興ヲ第一主義ト致シマシテ、當局ノ證明ニ依リマスト、三年ヲ以て事變前ニ復興シ得ルト云ニ基ク所ノ土地會社ト云フヤウナモノニ、日本ノ技術ト資本トヲ投ジマシテ、現在約九ツノ子會社ヲ設ケテ、銳意復興ニ努力中デアルト云フコトデアリマス、第三ニ、從來日支合辦事業ト云フモノハ多々失敗ニ歸シタノデアル、然ルニ是等ノ子會社ハ日支合辦事業デアル、政府ノ所見ハドウデアルカ、斯ウ云フ御質問ニ對シテ政府ノ御答辯ニナリマシタ所ハ、從來蔣政權ハ、日支合辦事業ニ對シテ日本側ガ過半數ノ權利ヲ掌握スルト云フコトヲ法律ヲ以テ禁ジテ居リマシタ、然ルニ現在出來テ居リマス所ノ維新政府ハ、日本側ガ過半數ノ權利ヲ持ッテモ宜シイト云フコトニシテ居リマスノデ、是等ノ子會社モ亦過半數ノ權利ヲ持ッテ居ルモノガアルノデアリマス、併シ斯カル場合ニ於テモ、日支共存共榮ノ大方針ニ基キマシテ、苟モ獨斷擅行ト云フヤウナ弊害ニ陥ルコトノネイヤウニシテ、有力ナ支那人ヲシテ、日本ノ技術ト資本ニ安心シテ、是等ノ復興事業ニ携ツテ吳爾ルヤウニ、銳意努力シテ居ルノデアルト云フ御答辯デアリマシタ、此ノ他委員ノ中ニハ、親シク現地ニ御出デニナテツテ御經驗ニナリマシタ見地カラ、色々ト適切ナ御意見モアリマシタシ、又通貨問題ハ、外資流入問題及ビ出資財產

ノ評議等ニ付テ熱心ナ御質問ガアリマシタ
タ、之ニ對シテ政府モ亦精細ヲ極メタ御答
辯ガアリマシタガ、是等ニ付キマシテハ速
記錄ニ譲リマシテ、討論ニ移リマシタ、討
論ニ入りマスト、一委員カラシテ租界問題
ヤ其ノ他外交問題ガウルサイ上海其ノ他ヲ
復興スルノデアルカラシテ、其ノ復興事業
ニ付テハ非常ナ障碍ガ多イト思フ、併シナ
ガラ一日モ早ク復興ヲ完成シテ、以テ日支
發展ノ基礎ヲ固メラレムコトヲ希望スルト
云フ希望意見ヲ述べラレマシテ、原案ニ賛
成ノ意見ヲ開陳セラレタノデアリマス、討
論ヲ終リマシテ採決ノ結果、全會一致ヲ以
テ政府ノ原案通り可決致シマシタ、右御報
告申上ゲマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第一讀會ノ決議通り御異議ゴザイマセヌカ
○議長(伯爵松平頼壽君) 異御議ナイト認メマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第十二、健康保險法中改正法律案
康保險法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長大森男爵
大森男爵
健康保險法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十四年三月二十三日
貴族院議長伯爵松平頼壽殿
(男爵大森佳一君演壇ニ登ル)
○男爵大森佳一君 此ノ改正案ハ健康保險法十數年ノ執行ノ成績ニ徴シ、改善ヲ施シ、且先程議決ニナリマシタ職員竝ニ船員ノ健康保險法ノ創設ニ關聯ヲ致シマシテ、改正ヲ必要トル所ノ法案デアリマス、要點ヲ舉ゲマスレバ、一、現行法ノ保険給付ハ、被保險者本人ノ傷病ニ關シテデアリマスガ、之ヲ其ノ家族ノソレニモ及ジ、或程度ノ療養費ヲ補給シ得ル途ヲ開クコトデアリマス、其ノ二ツニハ、傷病ニ關スル保険給付ノ支給期間ガ、從來六箇月ニ止メラレテ居リマシタガ、特ニ結核病ニ付テハ之ヲ一箇年ト爲シ得ルコトニシタコト、其ノ三、其ノ他創設ノ二法案ニ付テ被保險者ノ移動等ニ關聯シマシテ、被保險者ノ資格竝ニ保険給付ノ支給等ニ付テ關係ノ規定ヲ改正スルコト、此ノ三點デゴザイマス、何レモ當然ノ改正デアリマシテ、別ニ多クノ論議ナクシテ、一委員ヨリ賛成意見ヲ表示セラレテ後、全員異議ナク可決スベキモノト確定ヲ致シタ

次第デゴザイマス
○議長(伯爵松平頼壽君) 別ニ御發言モナ
ケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第一
讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ
讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス
○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第二讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題
ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通り
御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス
○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第三讀會
ヲ開キマス、本案全部第二讀會ノ決議通り
御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス
○議長(伯爵松平頼壽君) 明日ハ午前十時
ヨリ開會致シマス、議事日程ハ決定次第彙
報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ
散會致シマス

議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

次第デゴザイマス

○議長（伯爵松平頼壽君）別ニ御發言モナ
ケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二

讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌか

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第一讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長（伯爵松平頼喜君）　西大路子爵ノ動

議ニ御異議ゴザイマセヌカ
選議ナシト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼喜君) 御異議ナイト認
ヌマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第一讀會

ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題
共ノ、
大至ニ都、
未だ美、
設言也！

ニ供シヤフ本第至當
委員長
ノ轉告通
デ御異議ゴザイマセヌカ

○議長（伯爵松平頼義君）〔異議ナシト呼フ者アリ〕御異議ナイト認

メマス
子爵西大路吉光留
道子ニ本篠ノ第三讀

（二）會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

議ニ御異議ゴザイマセ又力

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト忍
〔異議ナシ〕ト呼べ者アリ

メイズ

（本會ノ第三讀會）
ヲ開キマス、本案全部第一讀會ノ決議通り

デ御異議ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

○議長(伯爵松平頼壽君) 明日八午前十時

ヨリ開會致シマス、議事日程ハ決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本件ハ是ニテ

散會致シマス
午後四時二十一分散會

卷之二